

2022年度 授業計画表

東北歯科専門学校

2022年度 歯科技工士科 第1学年 シラバス

[基礎分野]

歯科英語

造形美術概論

[専門基礎分野]

歯科技工管理学（歯科技工学概論）

口腔・顎顔面解剖学

口腔・顎顔面解剖学実習

顎口腔機能学

歯科理工学

歯科理工学実習

[専門分野]

有床義歯技工学

有床義歯技工学実習基礎

歯冠修復技工学

歯冠修復技工学実習基礎

矯正歯科技工学

小児歯科技工学

歯科英語

時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	長峯英樹(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部勤務				
一般目標	歯科技工士として活躍するために、語彙（専門用語）・文法・読解・リスニングの基礎を習得すると同時に、英語でのコミュニケーション力を身につける。				
到達目標	1. 「読む」：基礎的な語彙や文法、専門用語を学び、英語文献の概要を把握できる。 2. 「聞く」：簡単なあいさつや業務における指示や説明を聞いて理解できる。 3. 「書く」「話す」：自己紹介や考えを文章や会話で表現できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	1 Making an Appointment by Telephone	講義	2
2	2 Requests for Medicine	講義	2
3	3 Emergency Appointments	講義	2
4	4 National Health Insurance	講義	2
5	5 Asking the patient to Describe Symptoms	講義	2
6	6 Asking the Medical History	講義	2
7	7 Periodontal Disease	講義	2
8	9 Why Do I Need a Cleaning?	講義	2
9	12 Fluoride Treatment	講義	2
10	15 Postoperative Instructions to the Patient	講義	2
11	17 Visit to an American Dental Clinic	講義	2
12	Review 1	講義	2
13	Review 2	講義	2
14	Review 3	講義	2
15	最終試験	講義	2

成績評価 ・授業貢献度 20%、定期試験 80%

教科書 ・最新歯科衛生士教本 歯科英語／全国歯科衛生士教育協議会 監修（医歯薬出版）

参考図書 ・なし

造形美術概論

時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	1 年前期
担 当 講 師	熊田恭夫(専任教員)、関根夏枝(専任教員)、松本俊哉(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	歯科技工士として必要な美的感覚の素地を養うため、造形・色彩等について学ぶ。				
到達目標	1. 顎顔面や歯、および口腔のスケッチができる。 2. 色彩や形態について理解を深める。 3. 歯科技工材料を使って彫刻と造形ができる。 4. 芸術に触れ感性を磨く。				

	授業内容	授業形態	時間
1	石膏（球体、立体）彫刻、色彩と知覚について	実習	8
2	アクセサリ作り	実習	8
3	エッグカービング	実習	4
4	トレーレジンを使用しての造形	実習	4
5	顎顔面の形態描写、歯と歯列のスケッチ	演習	6

成績評価 ・製作物の評価、授業態度を総合的に評価する

教科書 ・配布資料

参考図書 ・最新歯科技工士教本 歯科技工造形学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

歯科技工管理学（歯科技工学概論）

時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	配 当 年 次	1 年前期
担 当 講 師	福井和徳(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科技工士の仕事の概略を身につけるため歯科医療の基礎を知り、歯科臨床における歯科技工の内容について学習する。				
到達目標	1) 歯科技工士の仕事の概要を述べる。 2) 歯科医療の特異性を説明する。 3) 口腔の構造、歯周組織を説明する。 4) 歯と口腔組織の形態と機能を説明する。 5) 歯科疾患と周囲組織の変化を説明する。 6) 歯科臨床における歯科技工の種類を説明する。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科医療と歯科技工（歯科技工士の仕事：DVD）	講義	2
2	歯科医療と歯科技工（歯式、消化機能）	講義	2
3	歯科医療と歯科技工（全身と口腔との関係）	講義	2
4	歯科技工士とは（歯学の歴史）	講義	2
5	歯科医療と歯科技工（歯科医療の特異性）	講義	2
6	歯科医療と歯科技工（歯周組織）	講義	2
7	中間試験（口腔の構造、歯と歯周組織） 歯科医療と歯科技工、歯科技工士の役割	講義	2
8	顔および口腔組織の形態と機能	講義	2
9	歯科疾患と周囲組織の変化	講義	2
10	歯科臨床と歯科技工①	講義	2
11	歯科臨床と歯科技工②	講義	2
12	歯科技工の管理と運営	講義	2
13	口腔と全身管理	講義	2
14	情報リテラシー、コミュニケーション	講義	2
15	歯科技工士関係法規	講義	2

成績評価 ・ 定期試験、講義レポートで評価する。試験は記述式とする。

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・ なし

口腔・顎顔面解剖学

時 間 数	46 時間	単 位 数	3 単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	宇佐美晶信(非常勤講師)、芹川雅光(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯の形態や組織発生および頭頸部の構造を理解する。				
到達目標	歯の形態と機能を説明できる。 歯の組織および発生を説明できる。 頭頸部の骨や筋肉を説明できる。 口腔周囲の構造を説明できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯の定義	講義	2
2	歯の外形と内形、歯の種類	講義	2
3	歯の記号と歯式	講義	2
4	切歯	講義	2
5	犬歯、上顎小臼歯	講義	2
6	下顎小臼歯	講義	2
7	上顎大臼歯	講義	2
8	下顎大臼歯	講義	2
9	乳歯の特徴、乳前歯	講義	2
10	乳臼歯、歯の萌出と脱落	講義	2
11	歯の発生、歯の組織 1 エナメル質	講義	2
12	歯の組織 2 象牙質、セメント質	講義	2
13	歯周組織	講義	2
14	歯の異常	講義	2
15	歯列と咬合	講義	2
16	頭蓋の全景	講義	2
17	脳頭蓋骨	講義	2
18	顔面頭蓋骨	講義	2
19	口腔周囲の筋、	講義	2
20	顎関節、頭頸部の神経と脈管	講義	2
21	口腔、口蓋、鼻腔	講義	2
22	唾液腺、咽頭と喉頭	講義	2
23	解剖学まとめ	講義	2

成績評価 ・ 定期試験 100%

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・ なし

口腔・顎口腔解剖学実習

時 間 数	180 時間	単 位 数	4 単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	関根夏枝(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	歯の基本的構造と各歯種の形態的特徴について理解し、臨床において必要となる解剖学的知識を習得する。				
到達目標	1. 歯の形態を5方向から観察して展開図としてスケッチできる。 2. 石膏棒を用いて歯を立体的に造形できる。 3. 講義で学習した各歯の解剖学的名称および特徴から、歯種の鑑別ができる。 4. 歯の特徴を理解し、表現できる。 5. 咬合面の副隆線や小窩裂溝などの微細かつ複雑な形態が表現できる。 6. 歯冠と歯根の凹凸の連続性をもって表現できる。 7. 咬頭の面積、近遠心径と頬舌径のバランスがとれる。 8. 歯冠と歯根のバランスがとれる。 9. 一定時間内に彫刻することができる。 10. 彫刻表面を滑沢に表現できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯の名称、デッサン法、ノギスでの歯牙模型計測など	実習	8
2	上顎左側中切歯 デッサン	実習	8
3	上顎左側中切歯 歯型彫刻	実習	14
4	上顎左側犬歯 デッサン	実習	8
5	上顎左側犬歯 歯型彫刻	実習	8
6	上顎左側第一小臼歯 デッサン	実習	8
7	上顎左側第一小臼歯 歯型彫刻	実習	16
8	上顎左側第一大臼歯 デッサン	実習	16
9	上顎左側第一大臼歯 歯型彫刻	実習	16
10	下顎右側中切歯 デッサン	実習	6
11	下顎右側中切歯 歯型彫刻	実習	8
12	下顎右側第一小臼歯 デッサン	実習	8
13	下顎右側第一小臼歯 歯型彫刻	実習	8
14	下顎右側第二小臼歯 デッサン	実習	8
15	下顎右側第二小臼歯 歯型彫刻	実習	8
16	下顎右側第一大臼歯 デッサン	実習	16
17	下顎右側第一大臼歯 歯型彫刻	実習	16

- 成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 定期試験
- 教科書 ・ 最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
 ・ 本校実習用テキスト
- 参考図書 ・ 歯の解剖 歯のデッサンと歯型彫刻 歯科技工学実習トレーニング
 ／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編（医歯薬出版）
 ・ 第2版 最新歯型彫刻－理論と実際－／尾花甚一 編著（医歯薬出版）

顎口腔機能学

時 間 数	16 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	1 年後期
担 当 講 師	清野晃孝(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	社会のニーズに対応する歯科技工士になるために、顎口腔系の基本構造と機能および下顎運動と上下歯列の位置関係を理解する。				
到達目標	顎関節の構造と機能を説明する。 口腔と口蓋の構造を説明する。 下顎位、下顎運動について説明する。 咬合器の種類、機構および使用目的を説明する。 咬合検査と顎機能障害を説明する。				

	授業内容	授業形態	時間
1	顎口腔系の機能	講義	2
2	顎口腔系の形態	講義	2
3	下顎運動	講義	2
4	歯の接触様式	講義	2
5	咬合器	講義	2
6	咬合検査	講義	2
7	顎機能障害	講義	2
8	まとめ	講義	2

成績評価

- ・定期試験において 65 点以上を合格とする。

教科書

- ・最新歯科技工士教本 顎口腔機能学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書

- ・なし

歯科理工学

時 間 数	46 時間	単 位 数	3 単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	岡田英俊(非常勤講師)、石田喜紀(非常勤講師)、大木達也(非常勤講師)、齋藤龍一(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科材料の特性と使用法を理解する。				
到達目標	(1) 歯科修復物を構成する材料を説明できる。 (2) 成形加工に関する理論と使用する機械を説明できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科材料の概要	講義	2
2	歯科材料の物理的性質	講義	2
3	歯科用模型材	講義	2
4	印象材(1) 特性	講義	2
5	印象材(2) 操作方法	講義	2
6	歯科用ワックス	講義	2
7	床用材料(1) 種類と成分	講義	2
8	床用材料(2) 特性と操作方法	講義	2
9	鋳造用埋没材	講義	2
10	歯科精密鋳造(1) 基礎理論	講義	2
11	歯科精密鋳造(2) 工程と使用する機械	講義	2
12	歯科精密鋳造(3) 埋没法と鋳造法	講義	2
13	歯科精密鋳造(4) 鋳造欠陥の原因と対策	講義	2
14	歯冠用材料(1) 歯科用セラミックスの性質と臨床応用	講義	2
15	歯冠用材料(2) 陶材焼付鋳造冠の特性と作製方法	講義	2
16	歯冠用材料(3) オールセラミックス冠の特性と作製方法	講義	2
17	歯冠用材料(4) 硬質レジンの特性と歯冠部への応用	講義	2
18	歯科用金属(1) 貴金属合金の特性	講義	2
19	歯科用金属(2) 非貴金属合金の特性	講義	2
20	歯科用金属(3) 金属の加工硬化、熱処理	講義	2
21	歯科用金属(4) 金属の接合	講義	2
22	歯科材料の研磨	講義	2
23	デジタル機器の歯科応用	講義	2

成績評価 ・ 定期試験で評価する。

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
・ 配布資料

参考図書 ・ なし

歯科理工学実習

時 間 数	180 時間	単 位 数	4 単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	熊田恭夫(専任教員)、関根夏枝(専任教員)、松本俊哉(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	1. 各種歯科材料や機械器具を適正に選択、成形加工に使用し、安全管理できるように必要な知識と技術を身につける。 2. 数量的な概念、直感的な観察力を養い、自然科学への興味を深める。				
到達目標	下記の知識、技術を習得する。 ・歯科技工用機械器具を正しく操作し安全管理できる。 ・試験片を作製し、理工学的試験を実施、測定値を記録する。 ・石膏、印象材を正確に操作できる。 ・ワックス、金属を適温に溶解できる。 ・加熱重合樹脂を重合成形できる。 ・試験により得られた測定値を統計処理できる。 ・実験結果のまとめ、講義内容と関連づけて考察ができる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	石こう (1) ゴム杵流し	実習	6
2	石こう (2) 硬化膨張	実習	6
3	石こう (3) 硬さ	実習	6
4	印象材 (1) 印象精度	実習	6
5	印象材 (2) 寸法精度・模型粗さ	実習	6
6	ワックス (1) 変形	実習	6
7	ワックス (2) フロー	実習	6
8	床用レジン (1) 重合精度①	実習	6
9	床用レジン (2) 重合制度② 寸法変化率①	実習	6
10	床用レジン (3) 寸法変化率②	実習	6
11	床用レジン (4) たわみ強さ、たわみ量 計測	実習	6
12	埋没材 (1) 硬化膨張 (埋没材)	実習	6
13	埋没材 (2) 硬化膨張 (耐火模型材)	実習	6
14	鑄造 (1) 鑄造精度・混水比 (網) ①埋没 ②鑄造	実習	6
15	鑄造 (2) 鑄造精度・混水比 (冠) ①埋没	実習	6
16	鑄造 (2) 鑄造精度・混水比 (冠) ②鑄造	実習	6
17	鑄造 (3) 鑄造精度・ライナー枚数①埋没	実習	6
18	鑄造 (3) 鑄造精度・ライナー枚数②鑄造	実習	6
19	ポーセレン (1) 焼成収縮	実習	6
20	ポーセレン (2) 焼成収縮、硬質レジン (1) 硬さ	実習	6
21	硬質レジン (2) たわみ、曲げ強さ	実習	6
22	熱処理 (1) 硬化・軟化处理・加工硬化	実習	6
23	熱処理 (2) 硬化・軟化处理・加工硬化	実習	6
24	熱処理 (3) 硬化・軟化处理・加工硬化	実習	6
25	鑲付け (1) 自在鑲付け	実習	6
26	鑲付け (2) 埋没鑲付け①埋没・鑄造	実習	6
27	鑲付け (3) 埋没鑲付け②鑲着・研磨	実習	6
28	CAD/CAM	実習	6
29	CAD/CAM	実習	6
30	CAD/CAM	実習	6

成績評価 ・授業態度および製作物の評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会 編 (医歯薬出版)
 ・配布資料

参考図書 ・第4版 歯科理工学実習／金竹哲也 監修 (医歯薬出版)
 ・スタンダード歯科理工学－生体材料と歯科材料－ 第4版／編集幹事 鈴木一臣 (学建書院)

有床義歯技工学

時 間 数	46 時間	単 位 数	3 単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	和田裕一(非常勤講師)、松本知生(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	全部または部分欠損患者の健康を維持・増進させるために、有床義歯の臨床的意義を理解し、義歯製作・装着するための理論を習得する。				
到達目標	1) 有床義歯技工学の概要を理解する 2) 生体についての基礎知識を理解する 3) 有床義歯の特性を理解する 3) 有床義歯の製作順序を理解する 4) 部分床義歯の構成要素を理解する 5) 有床義歯の印象採得に伴う技工作業を理解する 6) 有床義歯の咬合採得に伴う技工作業を理解する 7) クラスプの製作について理解する 8) バーの製作について理解する 9) 有床義歯の人工歯排列と歯肉形成を理解する 10) 有床義歯の埋没と重合を理解する 11) 有床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を理解する 12) 有床義歯の修理について理解する 13) リベース・リラインについて理解する 14) オーバーデンチャーについて理解する 15) 金属床義歯について理解する 16) その他の有床義歯について理解する				

	授業内容	授業形態	時間
1	有床義歯技工学概説	講義	2
2	有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識 ～審美的基礎知識	講義	2
3	有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識 下顎位～	講義	2
4	全部床義歯の特性	講義	2
5	全部床義歯の製作順序、印象採得に伴う技工作業	講義	2
6	全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業	講義	2
7	全部床義歯の人工歯排列	講義	2
8	全部床義歯の歯肉形成	講義	2
9	全部床義歯の埋没と重合	講義	2
10	全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨	講義	2
11	部分床義歯の特性	講義	2
12	部分床義歯の製作順序	講義	2
13	部分床義歯の構成要素 クラスプ	講義	2
14	部分床義歯の構成要素 レスト、アタッチメント、補助支台装置、テレスコープ	講義	2
15	部分床義歯の構成要素 連結子、義歯床	講義	2
16	部分床義歯の印象採得に伴う技工作業	講義	2
17	部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業①	講義	2
18	部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業②	講義	2
19	バー ～部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成	講義	2
20	部分床義歯の埋没と重合	講義	2
21	修理、リベースおよびリライン	講義	2
22	オーバーデンチャー、金属床義歯	講義	2
23	ノンクラスプデンチャー	講義	2

成績評価 ・小テスト 30% ・期末テスト 70%

教科書 ・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
・配布資料

参考図書 ・なし

有床義歯技工学実習基礎

時 間 数	316時間	単 位 数	7単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	熊田恭夫(専任教員)、松本俊哉(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	全部床義歯と部分床義歯の知識、製作手順および技工技術を理解し、技能を習得する。 歯科技工に必要な材料、器具、製作方法を理解し、技能を習得する。				
到達目標	1. 全部床義歯 (1) 個人トレーの製作 ・床外形線と個人トレー外形線の記入ができる。 ・リリースとブロックアウトを行い、トレー材料の圧接、形態修正、研磨ができる。 (2) 咬合床の製作 ・作業模型に基準線および咬合床の外形線の記入ができる。 ・咬合堤を標準的な位置に設定し、ワックス内部に気泡を入れずに完成できる。 (3) 咬合器装着 ・模型基底部にスプリットキャストを付与し、咬合平面板を用いた装着ができる。 (4) 人工歯排列と歯肉形成 ・前歯部は審美性および発音機能、臼歯部は咀嚼機能を重視した人工歯の排列ができる。 ・唇・頬側部、口蓋部、舌側部の歯肉形成を施したロウ義歯が完成できる。 (5) 義歯の完成（埋没と重合） ・埋没の前準備を行い、一次、二次埋没ができる。 ・義歯床用レジン（加熱重合レジン）の餅状期を理解し、填入操作ができる。 ・咬合器への再装着ならびに咬頭嵌合位と前・側方運動における人工歯の選択割合ができる。 ・自動割合を行い、人工歯の形態修正ができる。 ・実習書に記載された注意事項を守り、仕上げ研磨まで行うことができる。 2. 維持装置・部分床義歯 (1) 個人トレーの製作 ・サベイングを行い、義歯床と個人トレー外形線を記入できる。 ・リリースとブロックアウトを行い、トレー材料の圧接、形態修正、研磨ができる。 (2) 咬合床の製作 ・作業模型に基準線および咬合床の外形線の記入ができる。 ・咬合堤を標準的な位置に設定し、ワックス内部に気泡を入れずに完成できる。 (3) 維持装置および連結子の製作 ・サベイングを行い、着脱方向の決定、等高点およびサベイラインの描記ができる。 ・クラスプおよびバーの外形線が記入できる。 ・クラスプ用金属線、屈曲バーの屈曲操作ができる。 (4) 人工歯排列と歯肉形成 ・前歯部は審美性および発音機能、臼歯部は咀嚼機能を重視し、残存歯と調和した人工歯の排列ができる。 ・咬頭嵌合位と前・側方運動で人工歯を選択割合し、残存歯に調和した咬合関係を構築することができる。 ・残存歯と調和した審美性および機能を考慮した歯肉形成ができる。 (5) 義歯の完成（埋没と重合） ・ロウ義歯の埋没前準備を行い、レジン填入操作から仕上げ研磨までできる。 ※全課題の共通事項 ・技工操作に適した材料、器具を使用することができる。 ・サバイヤーとその付属品を使用できる。 ・サベイング、床外形線とトレー外形線の記入ができる。 ・リリースとブロックアウトができる。 ・耐火模型の製作ができる。 ・ワックスアップができる。 ・スプルーの植立ができる。 ・埋没、加熱乾燥、鋳造ができる。 ・メタルフレーム細部の研磨ができる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	全部床義歯		
	実習の概要	講義・実習	4
	全部床義歯の製作過程	実習	4
	個人トレー製作	実習	30
	咬合床製作	実習	24
	咬合器装着	実習	4
	上顎歯列排列	実習	8
	下顎歯列排列	実習	8
	歯肉形成	実習	16
	埋没、流蠟	実習	6
	レジン填入、重合	実習	4
	割り出し、荒研磨	実習	4
	咬合器再装着、咬合調整	実習	16
	研磨、完成	実習	16
2	維持装置（線鉤）		
	製作	実習	2
	サベイング、鉤外形線記入、ブロックアウト	実習	10
	ワイヤーベンディング 1（単純鉤）	実習	10
	ワイヤーベンディング 2（二腕鉤）	実習	10
	ワイヤーベンディング 3（レスト付二腕鉤小臼歯）	実習	8
	ワイヤーベンディング 4（レスト付二腕鉤大臼歯）	実習	8
	ワイヤーベンディング 5（レスト付二腕鉤ろう着鉤）	実習	8
	パラタルバーベンディング、研磨、完成	実習	8
3	維持装置（铸造鉤）		
	上下顎模型製作	実習	2
	サベイング、鉤外形線記入	実習	4
	ワックス形成 1（双歯鉤）	実習	4
	ワックス形成 2（分割腕鉤）	実習	4
	ワックス形成 3（バックアクションクラスプ）	実習	4
	ワックス形成 4（リングクラスプ）	実習	4
	ワックス形成 5（リバーバックアクションクラスプ）	実習	4
	ワックス形成 6（延長腕鉤）	実習	4
	ワックス形成 7（リングルバー）	実習	4
	レスト付二腕鉤 铸造まで	実習	8
4	部分床義歯		
	個人トレー製作	実習	2
	部分床義歯 模型製作、模型調整	実習	2
	サベイング、義歯の設計、ブロックアウト	実習	2
	ワイヤーベンディング 1（単純鉤 2 本）	実習	4
	ワイヤーベンディング 2（レスト付二腕鉤 4 本）	実習	8
	铸造鉤の製作（レスト付二腕鉤 2 本）	実習	8
	補強線の屈曲（保持 2 本）	実習	4
	リングルバーベンディング	実習	4
	咬合床製作	実習	6
	咬合器装着	実習	2
	人工歯排列	実習	8
	歯肉形成	実習	4
	埋没、流蠟、レジン填入、レジン重合	実習	4
	レジン床の割り出し、荒研磨	実習	4
	研磨、完成	実習	4

成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 受講態度 ・ 定期試験

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
・ 配布資料

参考図書 ・ 有床義歯技工 歯科技工学実習トレーニング／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編（医歯薬出版）

歯冠修復技工学（保存学）

時 間 数	10(46)時間	単 位 数	(3)単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	山田嘉重(非常勤講師)、菊井徹哉(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	保存修復学で行う処置法と使用材料を説明することができる。				
到達目標	各種インレーなどの内側性歯冠修復の窩洞形態や使用切削器具を理解できる。 内側性歯冠修復法で使用する材料の種類と適応症を説明することができる。 内側性歯冠修復法で使用する合着・接着材料の種類と特性を説明することができる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	保存修復学の概要とう蝕について	講義	2
2	う蝕除去後の窩洞形態と切削器具	講義	2
3	歯冠修復法の種類と直接歯冠修復法（窩洞の特徴と修復材料の種類）	講義	2
4	間接歯冠修復法Ⅰ（メタルインレー、メタルアンレー等金属修復物）	講義	2
5	間接歯冠修復法Ⅱ（レジンインレー、セラミックインレー、ベニア）	講義	2

成績評価

- ・第1回から第5回までの内容について定期試験を行い、その結果を80%とする。出席点を20%とする。成績の合計が60%（60点）以上を合格とする。

教科書

- ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書

- ① 保存修復学第6版（医歯薬出版. 2015）
- ② 保存修復学 21 第5版（永末書店. 2017）
- ③ 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患、保存修復・歯内療法
／全国歯科衛生士教育協議会 監修（医歯薬出版 2018）

歯冠修復技工学

時 間 数	36(46)時間	単 位 数	(3)単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	雨宮幹樹(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院で歯科医師として勤務				
一般目標	歯冠修復物、クラウン、ブリッジの製作に関する知識を習得する。				
到達目標	1) 歯冠修復技工学の意義と目的を説明できる。 2) クラウンの種類および特徴を説明できる。 3) ブリッジの種類および特徴を説明できる。 4) クラウンとブリッジの具備要件を説明できる。 5) 臨床の流れと技工作業の流れを説明できる。 6) 支台築造の意義と方法を説明できる。 7) 作業用模型の構成と種類および製作方法を説明できる。 8) 埋没・鋳造作業の方法を説明できる。 9) 研磨の意義・方法を説明できる。 10) 部分被覆冠の種類と特徴を列挙できる。 11) 全部被覆冠の種類・特徴と製作法を説明できる。 12) インプラント修復について説明できる。 13) CAD/CAM システムについて説明できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯冠修復技工学の概要、クラウンの概要と種類①	講義	2
2	クラウンの概要と種類②、ブリッジの概要と種類①	講義	2
3	ブリッジの概要と種類②、クラウンとブリッジの具備要件①	講義	2
4	クラウンとブリッジの具備要件②	講義	2
5	クラウンとブリッジの具備要件③ クラウンとブリッジの製作① (臨床ステップの概要、印象採得、研究用模型、)	講義	2
6	クラウンとブリッジの製作② (印象用トレー、支台築造)	講義	2
7	クラウンとブリッジの製作③ (プロビジョナルレストレーション、色調選択)	講義	2
8	クラウンとブリッジの製作④ (作業用模型、咬合器への装着)	講義	2
9	クラウンとブリッジの製作⑤ (クラウンに与える咬合、ワックスパターン形成)	講義	2
10	クラウンとブリッジの製作⑥ (埋没、鋳造作業、連結法)	講義	2
11	クラウンとブリッジの製作⑦ (調整、研磨～試適・仮着・合着)	講義	2
12	クラウンとブリッジの製作⑧ (レジン前装～陶材の築盛・焼成、クラウンの不具合の原因)	講義	2
13	歯冠修復物と部分被覆冠	講義	2
14	全部被覆冠①	講義	2
15	全部被覆冠②、ブリッジ①	講義	2
16	ブリッジ②	講義	2
17	インプラント、CAD/CAM システム	講義	2
18	歯冠修復技工学のまとめ	講義	2

成績評価 ・ 定期試験ならびに追加適宜試験で評価する。

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編 (医歯薬出版)

参考図書 ・ クラウンブリッジ補綴学 第5版／矢谷博文 他 編 (医歯薬出版) 2016。

・ クラウンブリッジテクニック 第2版／三浦宏之 他 編 (医歯薬出版) 2018。

歯冠修復技工学実習基礎

時 間 数	316 時間	単 位 数	7 単位	配 当 年 次	1 年
担 当 講 師	松本俊哉(専任教員)、関根夏枝(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	インレー、クラウン、ブリッジの製作順序を理解し、技術を習得する。				
到達目標	①インレー、クラウン、ブリッジを製作できる。 ②各実習に必要な器材の取り扱い方を理解し使用できる。				

	授業内容		授業形態	時間
1	インレー、アンレー、メタルコア (全7本)	ワックスアップ	実習	30
		埋没、鋳造	実習	8
		研磨、完成	実習	16
2	クラウン (上顎大臼歯)	ワックスアップ	実習	24
		埋没、鋳造	実習	16
		咬合調整、研磨、完成	実習	18
3	クラウン (下顎大臼歯)	模型製作、咬合器装着	実習	8
		ワックスアップ	実習	8
		埋没、鋳造	実習	8
		咬合調整、研磨、完成	実習	8
4	ブリッジ (上顎臼歯部)	模型製作、咬合器装着	実習	8
		ワックスアップ (支台歯)	実習	32
		ワックスアップ (ポンティック)	実習	24
		ポンティック部窓開け	実習	8
		埋没、鋳造	実習	8
		ポンティック部レジン築盛	実習	24
		形態修正、咬合調整	実習	10
		研磨、完成	実習	16
5	テンポラリークラウン		実習	16
6	定期試験用模型製作		実習	26

成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 受講態度 ・ 定期試験

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編 (医歯薬出版)
・ 歯冠修復技工 歯科技工学実習トレーニング/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編 (医歯薬出版)

参考図書 ・ なし

矯正歯科技工学

時 間 数	16 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	1 年後期
担 当 講 師	山野辺晋也(非常勤講師)、岡崎智世(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部、奥羽大学歯学部附属病院で歯科医師として勤務				
到達目標	1) 矯正歯科治療の意義と目的を説明できる。 2) 矯正歯科における正常咬合と不正咬合を説明できる。 3) 矯正歯科技工に用いる器械・器具と材料を列挙し、それらの特徴を説明できる。 4) 矯正歯科技工における基本的手技を説明できる。 5) 矯正用口腔模型の種類と特徴を説明できる。 6) 矯正装置の必要条件と分類を説明できる。 7) 各種の動的矯正装置の目的と構成を理解し、主な装置の製作法を説明できる。 8) 各種の保定装置の目的と構成を理解し、主な装置の製作法を説明できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	矯正歯科治療とは	講義	2
2	矯正歯科治療の進め方	講義	2
3	矯正歯科基本手技、模型について	講義	2
4	矯正装置の必要条件と分類矯正装置の製作法	講義	2
5	器械的矯正装置の製作、説明	講義	2
6	機能的矯正装置についての説明	講義	2
7	矯正装置の製作法	講義	2
8	保定装置	講義	2

成績評価 ・ 定期試験 100%

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・ なし

小児歯科技工学

時 間 数	16 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	1 年後期
担 当 講 師	加川千鶴世(非常勤講師)、神庭優衣(非常勤講師)、舟山敦雄(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	小児歯科治療における技工の意義、目的および小児の成長発育を理解する。				
到達目標	①小児歯科治療の種類、特徴を理解する ②小児歯科治療における小児歯科技工の目的を説明できる ③小児の成長発育を説明できる				

	授業内容	授業形態	時間
1	概説、歯・顎・顔面の成長発育	講義	2
2	歯・顎・顔面の成長発育	講義	2
3	小児の歯冠修復	講義	2
4	咬合誘導装置の種類、保隙装置	講義	2
5	咬合誘導装置の種類、保隙装置	講義	2
6	保隙装置、スペースリグナー	講義	2
7	口腔習癖除去装置、咬合誘導に用いる維持装置	講義	2
8	まとめ	講義	2

成績評価 ・ 定期試験により判定

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・ 小児歯科技工学

2022年度 歯科技工士科 第2学年 シラバス

- [基 礎 分 野] 情報処理
 コミュニケーション学
- [専門基礎分野] 歯科技工管理学（関係法規）
 顎口腔機能学実習
- [専 門 分 野] 有床義歯技工学実習応用
 歯冠修復技工学実習応用
 矯正歯科技工学実習
 小児歯科技工学実習
 歯科技工実習

情報処理

時 間 数	16 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	2 年前期
担 当 講 師	高橋 圭(非常勤講師)、遠藤直弥(非常勤講師)、松本俊哉(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、歯科技工所、歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	歯科技工に用いる加工機器の特徴と操作法を理解する。				
到達目標	・ 歯科用 CAD/CAM システムの構成と特徴を概説できる。 ・ 歯科用 CAD/CAM システムを使い、補綴物のデザイン及び製作ができる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科用 CAD/CAM システムの種類、特性、基本操作	講義	4
2			
3	デジタルデザイン 1	講義	4
4			
5	デジタルデザイン 2	講義	4
6			
7	オープンシステムを用いて スキャン、デザイン、削り出し、研磨	講義	4
8			

成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 受講態度
教科書 ・ 配布資料
参考図書 ・ なし

コミュニケーション学

時 間 数	16 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	2 年前期
担 当 講 師	吉田いくよ(非常勤講師)				
実務経験					
一般目標	他者と自己の違いを理解し、よりよい人間関係の作り方を身に付ける。 具体的には、実践に即したロールプレイングによって表現を身に付ける。				
到達目標					

	授業内容	授業形態	時間
1	パフォーマンス学 双方向の「表現」を捉える	講義	4
2			
3	コミュニケーション 「他者の意を汲むコミュニケーション」「自己と他者の違いを知る」 ため、映像を使いロールプレイング	講義	4
4			
5	電話応対 社会人として求められる基本応対を身に付ける 信頼を与える電話応対等を理解する	講義	4
6			
7	試験、授業態度から評価を行う 授業で得たことの客観的な測定をし、倫理として理解するだけでなく、体 得し表現できているかを確認する	講義	4
8			

成績評価 ・ 出席状況及び授業態度、更に発表内容によって評価する。
また、適宜レポートを課す場合もある。
教科書 ・ 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。
参考図書 ・ 授業内で適宜紹介する。

歯科技工管理学〈関係法規〉

時 間 数	16 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	2 年前期
担 当 講 師	廣瀬公治(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科技工士として業務に従事するのに必要な法令を修得する。				
到達目標	1) 法律の概要を説明できる。 2) 我が国の衛生行政機構を概説できる。 3) 歯科技工士の役割を説明できる。 4) 歯科技工士法を説明できる。 5) 歯科医師法・歯科衛生士法・医療法を概説できる。 6) 医療関係法令を概説できる。 7) 医療関連職種の業務の概要を説明できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	法政概論	講義	2
2	衛生行政	講義	2
3	歯科技工士法 (1) 総則、免許	講義	2
4	歯科技工士法 (2) 試験、業務	講義	2
5	歯科技工士法 (3) 歯科技工所、罰則	講義	2
6	歯科医師法、歯科衛生士法	講義	2
7	医療関連法令	講義	2
8	医療関連職種の業務、社会保険	講義	2

成績評価 ・ 定期試験 100%

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・ なし

顎口腔機能学 実習

時 間 数	46 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	2 年前期
担 当 講 師	松本俊哉(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	研究用模型を製作し、フェイスボウレコードを採得することにより、頭蓋の基準平面とフェイスボウの関係を学び、半調整性咬合器にフェイスボウトランスファーを行うことで下顎運動理論と咬合器の基礎的操作技術を習得しかつ理解する。				
到達目標	1. 研究用模型の製作ができる。 2. フェイスボウレコードを理解し半調節性咬合器に上顎模型をフェイスボウトランスファーができる。 3. 各チェックバイトを用いて半調節性咬合器の調節（矢状顎路傾斜角）ができる。 4. 咬合診断し咬合様式を説明できる。 5. 半調節性咬合器を操作し下顎運動に調和した大臼歯部咬合面のワックスアップができる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	半調節性咬合器の機能と使用方法	実習	4
2	フェイスボウトランスファー	実習	8
3	上顎模型の装着	実習	6
4	下顎模型の装着	実習	4
5	チェックバイト法による顎路調節	実習	6
6	機能的咬合面形成法によるワックスアップ 1	実習	8
7	機能的咬合面形成法によるワックスアップ 2	実習	8
8	機能的咬合面形成法によるワックスアップ 3	実習	2

成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 受講態度 ・ 定期試験

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 顎口腔機能学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・ なし

有床義歯技工学実習応用

時 間 数	136 時間	単 位 数	3 単位	配 当 年 次	2 年前期
担 当 講 師	熊田恭夫(専任教員)、松本俊哉(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	1 年次に修得した知識と技術を基に、手技の「速さ」と「正確さ」および「応用力」を身につける。 歯科技工士に相応しい思考と技能を身につける。				
到達目標	- 各課題を自己の知識と技能で完成できる。 - 各課題の指示を理解し、製作することができる。 - 製作課題を期限内に完成できる。 - 実習内容について、自主的に学習できる。 - 機材の特性や取り扱い方法を理解し、応用できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	全部床義歯		
	全部床義歯 3 床（パラジェットシステム上下顎、アクロン MC 上顎）の製作について	講義・実習	2
	咬合床製作（上顎 2 床、下顎 1 床）	実習	10
	パラジェットシステム床 咬合器装着	実習	4
	人工歯排列、歯肉形成	実習	16
	埋没、流蠟、レジン填入、重合	実習	8
	割り出し、荒研磨	実習	4
	咬合器再装着、咬合調整、完成	実習	4
	アクロン MC 床 人工歯排列（下顎パラジェットシステム床使用）	実習	4
	歯肉形成、埋没、流蠟、レジン填入、重合	実習	12
	割り出し、荒研磨、咬合器再装着、咬合調整	実習	8
	研磨、完成	実習	16
2	部分床義歯		
	咬合床、作業模型の製作、咬合器装着、ブロックアウト、リリース	実習	6
	維持装置製作（屈曲鉤、鑄造鉤）	実習	26
	人工歯排列、歯肉形成	実習	6
	埋没、流蠟、レジン填入、重合	実習	6
	研磨、完成	実習	4

成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 受講態度 ・ 定期試験

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
・ 配布資料

参考図書 ・ 有床義歯技工 歯科技工学実習トレーニング／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編（医歯薬出版）

歯冠修復技工学実習応用

時 間 数	136 時間	単 位 数	3 単位	配 当 年 次	2 年前期
担 当 講 師	関根夏枝(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	各種の歯冠修復の製作に関する基礎と臨床的知識及び技術を習得する。				
到達目標	硬質レジン前装冠の目的と製作順序が説明できる。 陶材焼付金属冠の目的と製作順序が説明できる。 製作に使用する材料や器材の取り扱い方を理解し使用できる。 臨床的模型での歯冠修復物の製作ができる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	硬質レジン前装冠(前歯部単冠、臼歯部ブリッジ) 模型製作、ワックスアップ	実習	20
2	硬質レジン前装冠(前歯部単冠、臼歯部ブリッジ) 埋没、鋳造、研磨	実習	16
3	硬質レジン前装冠(前歯部単冠、臼歯部ブリッジ) レジン築盛、形態修正	実習	20
4	硬質レジン前装冠(前歯部単冠、臼歯部ブリッジ) 研磨、完成	実習	4
5	陶材焼付金属冠(前歯部単冠) 模型製作、ガム模型、ワックスアップ	実習	12
6	陶材焼付金属冠(前歯部単冠) 窓開け、埋没、鋳造、メタル調整	実習	12
7	陶材焼付金属冠(前歯部単冠) ディギャッシング、陶材築盛	実習	16
8	陶材焼付金属冠(前歯部単冠) 形態修正、研磨、完成	実習	16
9	臨床模型について BrWaxup、Core・Tek	実習	20

成績評価

- ・製作物の評価
- ・受講態度
- ・定期試験

教科書

- ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
- ・歯冠修復技工 歯科技工学実習トレーニング/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編（医歯薬出版）

参考図書

- ・なし

矯正歯科技工学実習

時 間 数	46 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	2 年前期
担 当 講 師	松本俊哉(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	矯正装置の目的・特徴、および各装置に使用する材料・製作法について理解する。				
到達目標	・各装置の種類と目的を理解し、課題の装置を製作できる。 ・矯正装置の製作に用いられる器具の名称と使い方を理解できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	ワイヤー屈曲、鑑着の基本手技 1	実習	6
2	ワイヤー屈曲、鑑着の基本手技 2	実習	4
3	ワイヤー屈曲、鑑着の基本手技 3	実習	4
4	舌側弧線装置 模型製作、屈曲	実習	8
5	舌側弧線装置 床形成、研磨	実習	8
6	ホーレーの保定装置 模型製作、屈曲	実習	8
7	ホーレーの保定装置 床形成、研磨	実習	8

成績評価 ・製作物の評価、授業態度を総合的に評価する。

教科書 ・最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
・本校実習テキスト

参考図書 ・なし

小児歯科技工学実習

時 間 数	46 時間	単 位 数	1 単位	配 当 年 次	2 年前期
担 当 講 師	松本俊哉(専任教員)				
実務経験	歯科技工所及び歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	乳歯の形態的特徴を理解し、保隙装置の役割と製作法を習得する。				
到達目標	・乳歯の形態的特徴を捉え、歯型彫刻できる。 ・各保隙装置の目的や製作方法を理解し、課題の装置を製作できる				

	授業内容	授業形態	時間
1	乳歯ワックス歯型彫刻 上顎 2 歯	実習	8
2	乳歯ワックス歯型彫刻 下顎 2 歯	実習	8
3	可撤保隙装置 模型製作、維持装置屈曲	実習	8
4	可撤保隙装置 人工歯排列、床形成、研磨	実習	8
5	クラウンループ保隙装置 模型製作、ループ屈曲	実習	6
6	クラウンループ保隙装置 ロー着、研磨	実習	8

成績評価 ・製作物の評価、授業態度を総合的に評価する。

教科書 ・最新歯科技工士教本 小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会（医歯薬出版）
・配布資料

参考図書 ・矯正・小児 歯科技工学実習トレーニング/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編（医歯薬出版）

歯科技工実習

時 間 数	496 時間	単 位 数	11 単位	配 当 年 次	2 年
担 当 講 師	福井和徳(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
担当講師	熊田恭夫(専任教員)、関根夏枝(専任教員)、松本俊哉(専任教員)				
実務経験	歯科技工所、歯科医院で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	基礎実習で習得した技術の応用力を高める。				
到達目標	基礎実習を応用し、様々な症例に対応できる力を身につける。 高度な技工技術を習得する。 作業の効率化を図り、完成までの作業時間を早くする。				

	授業内容	授業形態	時間
1	平行模型製作 印象採得、模型製作	実習	4
	〃 歯列調整、バイト、台付け	実習	4
	〃 顔面・口腔内写真撮影、トリミング、模型計測	実習	4
2	予測模型製作 セットアップ(印象・分割)	実習	4
	〃 セットアップ(排列) 完成	実習	4
3	部分床義歯(金属床)製作 ノンプレシャス金属床模型製作	実習	2
	〃 咬合床製作、咬合器装着、耐火模型製作	実習	8
	〃 ワックスアップ	実習	4
	〃 埋没、鋳造、割り出し、金属床研磨	実習	16
	〃 人工歯排列、歯肉形成	実習	16
	〃 埋没、流蠟、研磨、完成	実習	16
4	全部床義歯 2 床 リングライズドオクルージョン(パラジェットシステム上下顎)の製作	実習	2
	〃 咬合床製作、咬合器装着	実習	14
	〃 人工歯排列、削合、歯肉形成	実習	20
5	ファイバーコア製作	実習	8
6	スポーツマウスガード製作 印象採得、模型製作	実習	11
	〃 模型トリミング、マウスガードシート成型	実習	9
	〃 シート切り出し、外形修正、外形研磨	実習	10
	〃 咬合器装着、咬合調整、完成	実習	9
7	維持装置を考慮したクラウン(大臼歯)、クラスプ製作		
	〃 模型製作、咬合器装着	実習	9
	〃 ワックスアップ	実習	12
	〃 埋没、鋳造、研磨	実習	9
	〃 クラスプ製作	実習	12
	〃 埋没、鋳造、研磨	実習	9
8	臨床的模型技工物製作 歯冠修復	実習	44
9	競作展課題製作(全部床義歯、部分床義歯、架工義歯)	実習	236

成績評価 ・製作物の評価 ・受講態度

教科書 ・配布資料

参考図書 ・なし

歯科技工管理学〈関係法規〉（補講）

時 間 数	6 時間	単 位 数	—	配 当 年 次	2 年後期
担 当 講 師	廣瀬公治(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科技工士として業務に従事するのに必要な法令を修得する。				
到達目標	1) 法律の概要を説明できる。 2) 我が国の衛生行政機構を概説できる。 3) 歯科技工士の役割を説明できる。 4) 歯科技工士法を説明できる。 5) 歯科医師法・歯科衛生士法・医療法を概説できる。 6) 医療関係法令を概説できる。 7) 医療関連職種の業務の概要を説明できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	法制概要と衛生行政	講義	2
2	歯科技工士法（1） 総則、免許、試験	講義	2
3	歯科技工士法（2） 業務、歯科技工所、雑則	講義	2

成績評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・なし

口腔・顎顔面解剖学（補講）

時 間 数	6 時間	単 位 数	—	配 当 年 次	2 年後期
担 当 講 師	宇佐美晶信(非常勤講師)、芹川雅光(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯の形態や組織発生および頭頸部の構造を理解する。				
到達目標	歯の形態と機能を説明できる。 歯の組織および発生を説明できる。 頭頸部の骨や筋肉を説明できる。 口腔周囲の構造を説明できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯の解剖学 総論	講義	2
2	解剖学総論	講義	2
3	歯の組織と発生	講義	2

成績評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・なし

顎口腔機能学（補講）

時 間 数	6 時間	単 位 数	—	配 当 年 次	2 年後期
担 当 講 師	清野晃孝(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	社会のニーズに対応する歯科技工士になるために、顎口腔系の基本構造と機能および下顎運動と上下歯列の位置関係を理解する。				
到達目標	顎関節の構造と機能を説明する。 口腔と口蓋の構造を説明する。 下顎位、下顎運動について説明する。 咬合器の種類、機構および使用目的を説明する。 咬合検査と顎機能障害を説明する。				

	授業内容	授業形態	時間
1	顎口腔系の機能、下顎運動	講義	2
2	歯の接触様式、咬合器、咬合検査、顎機能障害	講義	2
3	まとめ	講義	2

成績評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 顎口腔機能学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
参考図書 ・なし

歯科理工学（補講）

時 間 数	6 時間	単 位 数	—	配 当 年 次	2 年後期
担 当 講 師	岡田英俊(非常勤講師)、石田喜紀(非常勤講師)、大木達也(非常勤講師)、齋藤龍一(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科材料の特性と使用法を理解する。				
到達目標	(1) 歯科修復物を構成する材料を説明できる。 (2) 成形加工に関する理論と使用する機械を説明できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科材料総論	講義	2
2	レジン系材料、セラミックス系材料	講義	2
3	金属材料、修復物の作製	講義	2

成績評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
参考図書 ・なし

有床義歯技工学（補講）

時 間 数	6 時間	単 位 数	—	配 当 年 次	2 年後期
担 当 講 師	和田裕一(非常勤講師)、松本知生(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	全部または部分欠損患者の健康を維持・増進させるために、有床義歯の臨床的意義を理解し、義歯製作・装着するための理論を習得する。				
到達目標	1) 有床義歯技工学の概要を理解する 2) 生体についての基礎知識を理解する 3) 有床義歯の特性を理解する 3) 有床義歯の製作順序を理解する 4) 部分床義歯の構成要素を理解する 5) 有床義歯の印象採得に伴う技工作業を理解する 6) 有床義歯の咬合採得に伴う技工作業を理解する 7) クラスピの製作について理解する 8) バーの製作について理解する 9) 有床義歯の人工歯排列と歯肉形成を理解する 10) 有床義歯の埋没と重合を理解する 11) 有床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を理解する 12) 有床義歯の修理について理解する 13) リベース・リラインについて理解する 14) オーバーデンチャーについて理解する 15) 金属床義歯について理解する 16) その他の有床義歯について理解する				

	授業内容	授業形態	時間
1	有床義歯技工学の復習	講義	2
2	有床義歯技工学の復習と国家試験対策①	講義	2
3	有床義歯技工学の復習と国家試験対策②	講義	2

成績評価

教科書

- ・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書

- ・なし

歯冠修復技工学〈保存学〉（補講）

時 間 数	6 時間	単 位 数	—	配 当 年 次	2 年後期
担 当 講 師	山田嘉重(非常勤講師)、菊井徹哉(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	保存修復学で用いる部分被覆冠について説明することができる。				
到達目標	部分被覆冠についての国家試験問題に対応できる知識を習得する。				

	授業内容	授業形態	時間
1	国家試験対策Ⅰ（卒業試験問題解説、メタルインレーの特徴、作製法）	講義	2
2	国家試験対策Ⅱ（メタルインレー以外の金属系部分被覆冠について）	講義	2
3	国家試験対策Ⅲ（レジンインレー、ポーセレンインレーについて）	講義	2

成績評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・なし

歯冠修復技工学（補講）

時 間 数	6 時間	単 位 数	—	配 当 年 次	2 年後期
担 当 講 師	雨宮幹樹(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院で歯科医師として勤務				
一般目標	国家試験合格のため、歯冠修復物、クラウン、ブリッジの製作に関する知識を習得する。				
到達目標	1) 歯冠修復技工学の意義と目的を説明する。 2) クラウンの種類および特徴を説明する。 3) ブリッジの種類および特徴を説明する。 4) クラウンとブリッジの具備要件を説明する。 5) 臨床の流れと技工作業の流れを説明する。 6) 支台築造の意義と方法を説明する。 7) 作業用模型の構成と種類および製作方法を説明する。 8) 埋没・鑄造作業の方法を説明する。9) 研磨の意義・方法を説明する。 10) 部分被覆冠の種類と特徴を列挙する。 11) 全部被覆冠の種類・特徴と製作法を説明する。 12) インプラント修復について説明する。 13) CAD/CAM システムについて説明する。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯冠修復技工学の復習と国家試験対策①	講義	2
2	歯冠修復技工学の復習と国家試験対策②	講義	2
3	歯冠修復技工学の復習と国家試験対策③	講義	2

成績評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・クラウンブリッジ補綴学 第5版／矢谷博文 他 編（医歯薬出版）2016.

・クラウンブリッジテクニック 第2版／三浦宏之 他 編（医歯薬出版）2018.

矯正歯科技工学（補講）

時 間 数	6 時間	単 位 数	—	配 当 年 次	2 年後期
担 当 講 師	福井和徳(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	矯正歯科治療に係わる診断学、治療学を理解し、正常咬合と不正咬合の分類を知り、矯正力と固定、材料と器械・器具、不正咬合の治療に用いる矯正装置および製作法について学習する。				
到達目標	1) 矯正歯科における正常咬合と不正咬合を説明できる。 2) 矯正歯科技工に用いる器械・器具と材料を列挙し、それらの特徴を説明できる。 3) 矯正歯科技工における基本的手技を説明できる。 4) 矯正用口腔模型の種類と特徴を説明できる。 5) 矯正装置の必要条件と分類を説明できる。 6) 各種の動的矯正装置の目的と構成を理解し、主な装置の製作法を説明できる。 7) 各種の保定装置の目的と構成を説明し、主な装置の製作法を説明できる。				

	授業内容	授業形態	時間
1	1) 矯正歯科治療とは 2) 矯正歯科治療の進め方 3) 矯正歯科基本手技、模型について	講義	2
2	4) 矯正装置の必要条件と分類 5) 矯正装置の製作法 6) 器械的矯正装置の製作、説明	講義	2
3	7) 機能的矯正装置についての説明 8) 矯正装置の製作法 9) 保定装置	講義	2

成績評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・なし

小児歯科技工学（補講）

時 間 数	6 時間	単 位 数	—	配 当 年 次	2 年後期
担 当 講 師	加川千鶴世(非常勤講師)、神庭優衣(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	小児歯科治療における技工の意義、目的および小児の成長発育を理解する。				
到達目標	①小児歯科治療の種類、特徴を理解する ②小児歯科治療における小児歯科技工の種類と目的を説明できる ③小児の成長発育を説明できる				

	授業内容	授業形態	時間
1	小児歯科学総論、小児歯科学各論 - 歯冠修復・咬合誘導	講義	2
2	小児歯科学各論 - 保険装置、スペースリグゼーナー	講義	2
3	まとめ （講義・試験・解説）	講義	2

成績評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 ・なし

2022年度 歯科衛生士科 第1学年 シラバス

[基礎分野]

生物学

化学

情報処理

歯科英語・実践英語

[専門基礎分野]

解剖学

生理学

生化学・口腔生化学

口腔解剖学

組織発生学

口腔生理学

病理学・口腔病理学

薬理学・歯科薬理学

微生物学・口腔微生物学

口腔衛生学Ⅰ

衛生・公衆衛生学

[専門分野]

歯科衛生士概論

医療倫理学

歯科臨床概論

う蝕・歯周予防処置法Ⅰ

歯科保健指導法Ⅰ

歯科診療補助法Ⅰ

感染予防学

[選択必須分野]

国語表現及び読解

特別教養（華道・茶道）

生物学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	今井 元(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	生命の基本構造・生命現象およびこれらに関わる物質を理解する				
成績評価	筆記試験 (90%) 受講態度 (10%)				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 生物学 医歯薬出版				
参 考 書	特に指定しない				

	授業内容	授業形態	時間
1	イントロダクション I 編：生命 1 章 生命とは何か：生物とは何か・生物(生命)に関わる物質	講義	2
2	I 編 2 章 生命の誕生 3 章 生命の変遷	講義	2
3	II 編：組織と細胞 1 章 生物は細胞からできている - 細胞をつくる物質	講義	2
4	II 編 1 章 生命の単位—細胞 細胞小器官	講義	2
5	II 編 1 章 細胞のさまざまな活動	講義	2
6	II 編 2 章 細胞の一生と個体の成り立ち 細胞の一生 単細胞多細胞	講義	2
7	II 編 2 章 ヒトの組織	講義	2
8	II 編 2 章 ヒトの器官	講義	2
9	III 編：生命の連続 1 章 生殖によって子孫をつくる 生殖・減数分裂	講義	2
10	III 編 2 章 遺伝と遺伝子 遺伝と遺伝の法則	講義	2
11	III 編 2 章 生命をつくる仕組み 遺伝子を働かせるしくみ	講義	2
12	III 編 3 章 発生して体をつくる	講義	2
13	IV 編：環境と動物の反応 1 章 刺激の受容と反応 刺激の受容と伝達 中枢と末梢	講義	2
14	IV 編 2 章 内部環境を保つ仕組み 体液とホルモン	講義	2
15	IV 編 2 章 生体防御	講義	2

化 学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	阿部匡聡(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部勤務				
一般目標	専門知識を習得するために必要となる基本的化合物の名称および化学式を理解する。 科学的思考法の基礎を身につける。				
成績評価	筆記試験 (100%)				
教 科 書	最新 歯科衛生士教本 化学				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	物 質 (1) 分類、構造、元素記号の重要性	講義	2
2	物 質 (2) 元素の周期律、元素の分類、物質質量	講義	2
3	物 質 (3) 化学式、化学結合	講義	2
4	気 体 理想気体の状態方程式	講義	2
5	水溶液 (1) 濃度の種類と濃度計算	講義	2
6	水溶液 (2) 希薄溶液の性質	講義	2
7	水溶液 (3) コロイド	講義	2
8	水溶液 (4) 酸、アルカリ、pH	講義	2
9	酸化還元 酸化数、イオン化傾向	講義	2
10	化学反応 活性化エネルギー、化学平衡	講義	2
11	有機化合物 (1) 異性体	講義	2
12	有機化合物 (2) 反応	講義	2
13	有機化合物 (3) 性質	講義	2
14	高分子化合物	講義	2
15	生体関連物質、糖質、脂質、核酸	講義	2

情報処理

時 間 数	32 時間	単位数	1 単位	配当年次	1 年
担 当 者	黒田栄子(非常勤講師)、古山 昭(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	医療従事者として、コンピューターの基礎的な知識とそれを使うための操作法を習得することを目標とする。				
成績評価	授業中に作成した文書・表などにより評価する。				
教 科 書	定平 誠 著「Word/Excel/PowerPoint 標準テキスト」技術評論社 2013 年				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	授業概要、コンピューターの基本操作	演習	2
2	ウィルス対策、ネット接続など	演習	2
3	Windows8.1 の基本操作, フォルダとファイルの作成・管理, タイピング	演習	2
4	Word の基本操作、文書作成、文書の保存と印刷	演習	2
5	文書デザインとレイアウト、書式設定	演習	2
6	オブジェクトの挿入、名刺の作成	演習	2
7	Excel の基本操作（画面構成）、表計算（計算式・関数）	演習	2
8	表の作成・編集、表の保存、表作成の応用、計算式を設定	演習	2
9	表にグラフを挿入する、データベースの集計・検索	演習	2
10	データベースの条件設定	演習	2
11	PowerPont の基本操作（画面構成）、スライドの作成、スライドの編集	演習	2
12	スライドの編集、スライドにオブジェクトの挿入	演習	2
13	ビデオの挿入、アニメーション効果をつける	演習	2
14	インターネットの利用について	演習	2
15	インターネットを利用した情報検索Ⅰ	演習	2
16	インターネットを利用した情報検索Ⅱ	演習	2

歯科英語・実践英語

時 間 数	32 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	長峯英樹(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部勤務				
一般目標	・ 英文をスピーディに理解できるスキルを向上させる。 ・ 語彙、文法の基礎を歯科医療現場の英会話例を通してマスターする。 ・ 歯科医療英語の専門用語をしっかりと学び、実践で使えるようにする。				
成績評価	試験（100％）				
教 科 書	最新 歯科衛生士教本 歯科英語				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	1. Making an Appointment by Telephone	講義	2
2	2. Requests for Medicine	講義	2
3	3. Emergency Appointment	講義	2
4	4. National Health Insurance	講義	2
5	5. Asking the Patient to Describe Symptoms	講義	2
6	6. Asking the Medical History	講義	2
7	7. Periodontal Disease	講義	2
8	8. Pregnancy	講義	2
9	9 Why Do I Need a Cleaning?	講義	2
10	10 Informed Consent	講義	2
11	11 Sealants	講義	2
12	12 Fluoride Treatment 13 Tooth Brushing Instructions for a Child	講義	2
13	14 Tooth Brushing Instructions for an Adult	講義	2
14	15 Postoperative Instructions to the Patient	講義	2
15	16 After Treatment	講義	2
16	17 Visit to an American Dental Clinic	講義	2

解剖学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	宇佐美晶信(非常勤講師)、芹川雅光(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	人体の構造を理解する。特に口腔領域は十分に構造を把握して、その構造が機能とどのように結びつくかを理解する。				
成績評価	前期と後期の定期試験の結果と、授業中に行う小テストの結果を合わせて 6 割以上の成績の者を合格と判定する。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	解剖学総論、骨学総論	講義	2
2	全身の骨格	講義	2
3	頭蓋骨	講義	2
4	筋学総論、骨の小テストと解説	講義	2
5	頭頸部の筋	講義	2
6	脈管学総論、全身の脈管	講義	2
7	頭頸部の脈管	講義	2
8	内臓学、頭頸部の筋の小テストと解説	講義	2
9	感覚器 1 (嗅覚器、味覚、視覚器)	講義	2
10	感覚器 2 (平衡聴覚器)、呼吸器	講義	2
11	口腔の構造	講義	2
12	唾液腺 1、頭頸部の脈管学の小テストと解説	講義	2
13	唾液腺 2、舌 1	講義	2
14	舌 2、泌尿生殖器	講義	2
15	内分泌器、口腔の構造、唾液腺、舌の小テストと解説	講義	2

生理学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	1 年
担 当 者	川合宏仁(非常勤講師)、大須賀謙二(非常勤講師)、古山 昭(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科衛生士として必要となる正常な体の仕組みを理解し、把握させることを目標とする。				
成績評価	筆記試験（90％） 出席（10％）				
教 科 書	医歯薬出版株式会社 人体の構造と機能				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	生理学とは 循環 呼吸	講義	2
2	筋と運動	講義	2
3	神経系 感覚	講義	2
4	消化・吸収	講義	2
5	排泄	講義	2
6	体温	講義	2
7	内分泌	講義	2
8	生殖	講義	2

生化学・口腔生化学

時 間 数	32 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	前田豊信(非常勤講師)、鈴木厚子(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部、奥羽大学歯学部附属病院で歯科医師として勤務				
一般目標	(1)栄養素の消化・吸収・代謝およびその調節を理解する。 (2)健康維持・疾病改善のための食生活・栄養摂取に関する指導法を修得する。				
成績評価	適宜行う小テストの結果により形成的評価を行い、前期・後期の定期試験の成績により総括的評価を行う。60 点以上を合格とする。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 2 栄養と代謝 医歯薬出版				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	生体の構成要素 1 (細胞の役割 生体における水)	講義	2
2	生体の構成要素 2 (糖質の構造と種類) 消化と吸収 1 (糖質の消化と吸収)	講義	2
3	糖質と脂質の代謝 1 (糖質の代謝とエネルギーの生成)	講義	2
4	プラークの生化学 栄養素の働き 1 (糖質の栄養的意味)	講義	2
5	生体の構成要素 3 (タンパク質の構造と種類) 消化と吸収 2 (タンパク質の消化と吸収)	講義	2
6	栄養素の働き 2 (タンパク質の栄養的意味)	講義	2
7	タンパク質とアミノ酸の代謝 生体恒常性	講義	2
8	生体の構成要素 4 (脂質の構造と種類) 消化と吸収 3 (脂質の消化と吸収)	講義	2
9	糖質と脂質の代謝 2 (脂質の代謝とエネルギーの生成) 栄養素の働き 3 (脂質の栄養的意味)	講義	2
10	歯と歯周組織の生化学	講義	2
11	硬組織の生化学	講義	2
12	唾液の生化学	講義	2
13	ビタミンの栄養学的意味	講義	2
14	ミネラルの栄養学的意味 食物繊維の栄養学的意味	講義	2
15	食事摂取基準 1	講義	2
16	食事摂取基準 2	講義	2

口腔解剖学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	宇佐美晶信(非常勤講師)、芹川雅光(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	口腔内に存在する各歯牙の形態と機能、及び歯牙により構成される歯列、咬合についてもその形態と機能を理解する。				
成績評価	筆記試験				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	歯の総論 (1) 歯の起源、歯の基本形態、歯式、歯列弓と方向用語	講義	2
2	歯の総論 (2) 歯の各部の名称、乳歯と永久歯の関係	講義	2
3	歯の総論まとめ、上下顎切歯	講義	2
4	上・下顎犬歯	講義	2
5	上顎第 1、第 2 小臼歯 第 1 小臼歯の特異点、第 1 と第 2 小臼歯の比較	講義	2
6	下顎第 1、第 2 小臼歯 第 1、第 2 小臼歯の比較、上下顎小臼歯の比較	講義	2
7	上顎大臼歯 第 1 から第 3 大臼歯の特徴と比較 機能咬頭と誘導咬頭	講義	2
8	下顎大臼歯 第 1 から第 3 大臼歯の特徴と比較	講義	2
9	乳歯総論、乳前歯、乳臼歯、萌出時期	講義	2
10	歯列咬合、歯の異常	講義	2
11	顔面と口腔の発生、顎関節の構造と機能	講義	2
12	舌、舌筋、舌の脈管と神経、咽頭	講義	2
13	三叉神経（眼神経、上顎神経、下顎神経）	講義	2
14	顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経	講義	2
15	口腔解剖学のまとめ	講義	2

組織発生学

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位	配当年次	1 年
担 当 者	中川敏浩(非常勤講師)、荒木啓吾(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	①人体の構造を学ぶために、細胞および組織の基本構造を理解する ②正常発生と成長過程の知識を得るために、個体発生の機序を理解する ③歯と歯周組織の疾患を理解するために、その微細構造を理解する				
成績評価	多種選択式の試験を行う				
教 科 書	人体の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	細胞と組織 1	講義	2
2	細胞と組織 2	講義	2
3	細胞と組織 3	講義	2
4	細胞と組織 4	講義	2
5	発生 1	講義	2
6	発生 2	講義	2
7	歯および歯周組織の構造と機能 1	講義	2
8	歯および歯周組織の構造と機能 2	講義	2
9	歯および歯周組織の構造と機能 3	講義	2
10	歯および歯周組織の構造と機能 4	講義	2

口腔生理学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	1 年
担 当 者	川合宏仁(非常勤講師)、大須賀謙二(非常勤講師)、古山 昭(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科衛生士として必要最低限の正常な口腔機能を修得させることを目標とする。				
成績評価	筆記試験 (90%) 出席 (10%)				
教 科 書	医歯薬出版株式会社 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学、口腔組織発生学・口腔生理学				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	歯と口腔の感覚	講義	2
2	味覚と嗅覚	講義	2
3	咬合と咀嚼・嗅覚	講義	2
4	嚥下と嘔吐	講義	2
5	発声	講義	2
6	唾液 1	講義	2
7	唾液 2	講義	2
8	歯および歯周組織の構造と機能	講義	2

病理学・口腔病理学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	遊佐淳子(非常勤講師)、櫻井裕子(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	疾病を総括的に理解するために病理概説として、病因論、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍、遺伝性疾患および奇形について概略を学ぶ。歯科臨床における疾病を理解するために口腔病理として、歯の硬組織疾患(う蝕)、歯髄、歯周組織、顎骨、口腔粘膜などの顎口腔領域全般における疾患について、原因、分類、病理発生、臨床像および病理組織像の特徴などを学ぶ。				
成績評価	筆記試験				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	病理学とは 病因論 遺伝性疾患と奇形	講義	2
2	循環障害 代謝障害と退行性病変	講義	2
3	増殖と修復	講義	2
4	炎症と免疫応答異常	講義	2
5	腫瘍	講義	2
6	歯の発育異常 歯の損傷と着色・付着物	講義	2
7	う蝕	講義	2
8	象牙質・歯髄複合体の病態	講義	2
9	歯周組織の病態Ⅰ	講義	2
10	歯周組織の病態Ⅱ	講義	2
11	口腔粘膜の病変 口腔領域の嚢胞	講義	2
12	口腔領域の腫瘍 口腔癌	講義	2
13	顎骨の病変 唾液腺の病変	講義	2
14	口腔領域の奇形 口腔組織の加齢変化	講義	2
15	まとめ	講義	2

薬理学・歯科薬理学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	長岡正博(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	1) 種々の方法で適応された薬物の生体運命を理解する。 2) 一般的な歯科治療における全身管理、精神鎮静法、局所麻酔及び 全身麻酔の基本を理解する。				
成績評価	評価は、筆記試験を行い 100 点満点で 60 点以上のものを合格とする。				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 医歯薬出版 2008 年				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	総論 (1)	講義	2
2	総論 (2)	講義	2
3	中枢神経系と薬	講義	2
4	末梢神経系と薬 (1) 自律神経作用薬	講義	2
5	末梢神経系と薬 (2) 局所麻酔薬	講義	2
6	循環・呼吸器系と薬	講義	2
7	血液と薬	講義	2
8	炎症と薬	講義	2
9	ビタミン・ホルモンと薬 漢方医学と薬	講義	2
10	感染症と薬 (1) 抗感染症薬	講義	2
11	感染症と薬 (2) 消毒薬	講義	2
12	悪性腫瘍と薬 免疫と薬	講義	2
13	歯・歯髄疾患と薬	講義	2
14	歯周疾患と薬 顎・口腔粘膜疾患と薬	講義	2
15	服薬指導	講義	2

微生物学・口腔微生物学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	清浦有祐(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	微生物の種類と特性および感染微生物の病原性を理解する。感染防御手段としての滅菌及び消毒を理解する。口腔感染症とそれに対する防御機構を理解する。				
成績評価	筆記試験（70％） 授業態度（15％） 出席（15％）				
教 科 書	「最新歯科衛生士教本 微生物学」医歯薬出版				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	微生物学概論	講義	2
2	感染の種類とそのメカニズム	講義	2
3	滅菌と消毒	講義	2
4	感染防御のメカニズムとワクチン	講義	2
5	抗原と抗体	講義	2
6	免疫担当細胞	講義	2
7	アレルギー	講義	2
8	細菌感染症	講義	2
9	ウイルス感染症	講義	2
10	院内感染	講義	2
11	歯垢細菌	講義	2
12	齲蝕原生細菌	講義	2
13	歯周病原生細菌	講義	2
14	病原細菌の取り扱い方	講義	2
15	病原細菌の染色と形態観察	講義	2

口腔衛生学 I

時 間 数	48 時間	単位数	3 単位	配当年次	1 年
担 当 者	大橋明石(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	口腔衛生学は歯・口腔の健康を通じて国民のQOLの向上や自己実現への支援をはかる学問である。臨床・地域保健の場において人々の健康の保持・増進をはかるため、歯科衛生士として必要な対応策および基礎知識を習得する。				
成績評価	定期試験の結果を元に総合的に評価する。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本「保健生態学」(医歯薬出版)				
参 考 書	配布プリント				

	授業内容	授業形態	時間
1	口腔衛生とは。唾液の作用。	講義	2
2	歯・口腔の付着物・沈着物①：ペリクル、プラーク①	講義	2
3	歯・口腔の付着物・沈着物②：プラーク②	講義	2
4	歯・口腔の付着物・沈着物③：歯石、その他	講義	2
5	口腔清掃：歯磨剤	講義	2
6	う蝕の予防①：ステファンの曲線、う蝕の発生要因①	講義	2
7	う蝕の予防②：う蝕の発生要因②、疾病予防の3相5段①	講義	2
8	う蝕の予防③：疾病予防の3相5段②	講義	2
9	う蝕活動性試験①	講義	2
10	う蝕活動性試験②	講義	2
11	口 臭	講義	2
12	前期のまとめ	講義	2
13	フッ化物①	講義	2
14	フッ化物②	講義	2
15	フッ化物③	講義	2
16	地域保健総論①	講義	2
17	地域保健総論②	講義	2
18	母子歯科保健①	講義	2
19	母子歯科保健②	講義	2
20	学校歯科保健①	講義	2
21	学校歯科保健②	講義	2
22	産業歯科保健、介護保険①	講義	2
23	介護保険②	講義	2
24	後期のまとめ	講義	2

衛生・公衆衛生学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	1 年
担 当 者	廣瀬公治(非常勤講師)、小林美智代(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯・口腔から人間そのものを含めた「健康」について、個人はもとより人間集団の現象をとらえて、疾病・異常の原因追究、疾病の予防、さらには健康の増進にいたるまで考え、その手法を理解する。併せて、その知識と教養を身につけ、歯科医療の場で活用できる能力を習得する。				
成績評価	筆記試験（80％） 授業態度（10％） 出欠有無（10％）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本「保健生態学」（医歯薬出版）				
参 考 書	国民衛生の動向・2006 年 第 53 巻第 9 号				

	授業内容	授業形態	時間
1	総論（衛生・公衆衛生学の定義、健康の概念、予防医学の概念）	講義	2
2	人口（人口に関する統計、人口静態統計）	講義	2
3	人口（人口動態統計、生命表）	講義	2
4	環境と健康（空気、温熱環境）	講義	2
5	環境と健康（上水、下水）	講義	2
6	環境と健康（廃棄物、環境保全）	講義	2
7	環境と健康（地球環境など）	講義	2
8	疫学（疫学の定義、疾病異常の発生要因）	講義	2
9	疫学（疫学の方法論、スクリーニング）	講義	2
10	感染症（感染の概念、感染の三大要因）	講義	2
11	感染症（感染の予防対策、感染の動向）	講義	2
12	食品と健康（食事摂取基準、国民栄養の現状）	講義	2
13	食品と健康（食品衛生、食中毒、食品添加物）	講義	2
14	地域保健、母子保健、学校保健	講義	2
15	成人保健、産業保健、精神保健	講義	2

歯科衛生士概論

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	1 年
担 当 者	福井和徳(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科衛生士として必要な歯科医学、歯科医療の構成要素の概略を理解する。				
成績評価	筆記試験				
教 科 書	歯科衛生学総論				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	オリエンテーション、口腔内環境	講義	2
2	口腔の構造と機能	講義	2
3	歯科医療の 3 要素と歯科医療の目的	講義	2
4	歯科衛生士の役割、業務	講義	2
5	歯科口腔疾患の概要	講義	2
6	歯科診療の流れと歯科医療の特異性	講義	2
7	歯科医療の分野	講義	2
8	歯科生体材料の種類と特徴	講義	2

医療倫理学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	1 年
担 当 者	長岡正博(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	医の倫理の原則を学ぶとともに、インフォームド・コンセントに基づいた患者対応、医療現場で必要となるコミュニケーション技術やその基礎となる行動科学を習得する。				
成績評価	筆記試験（80％） 演習（10％） 出席（10％）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理（医歯薬出版）				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	医学の特殊性と、医療倫理が求められる背景	講義	2
2	医療従事者の職業倫理① [医師の職業倫理とその変容]	講義	2
3	医療従事者の職業倫理② [歯科衛生士の職業倫理]	講義	2
4	患者の権利 および人を対象とした医学研究の倫理	講義	2
5	生命倫理学とは およびその国際規範	講義	2
6	生命倫理に関わる問題（始まり・終わり）	講義	2
7	臨床倫理学 およびインフォームド・コンセント	講義	2
8	Q O L の向上を目指す医療と、歯科医療	講義	2

歯科臨床概論

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位	配当年次	1 年
担 当 者	川鍋 仁(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科臨床の概念を学習し理解させることを目標とする。				
成績評価	筆記試験（80％） 出席（20％）				
教 科 書	歯科衛生士のための 歯科臨床概論				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科医療(医の倫理とインフォームド・コンセント、歯科医療の特異性) 歯科患者(患者への対応、小児や特殊歯科患者への対応)	講義	2
2	歯科診療所(歯科診療所の診療分野と設備内容) 歯科診療のながれの概要(患者誘導、予備準備、前準備、口腔内診査、救急処置)	講義	2
3	歯科保存修復(う蝕の診査、歯質の切削、窩洞形成、覆髄、形成修復、インレー形成、歯科材料) 院内感染、歯科材料(印象材、石膏、合着セメント、レジン)	講義	2
4	歯内療法(歯髄診断、歯髄鎮静法、生活歯髄切断法、抜髄法、歯内外科)	講義	2
5	歯周治療(歯周疾患の種類と原因および症状、歯周診査・診断・治療方針の決定、基本治療、歯周外科治療、メンテナンス)	講義	2
6	中間テスト	講義	2
7	歯科補綴治療(歯冠補綴の分類・適応、ブリッジの構成・種類、支台築造) 床義歯(部分床義歯の構成、全部床義歯の構成、咬合学)	講義	2
8	小児歯科治療(小児の特徴と小児および保護者への対応、小児歯科診療の特徴)	講義	2
9	矯正歯科治療(不正咬合の種類、診断および治療方針の決定、矯正歯科治療における経過、矯正歯科治療の器具および装置、矯正力による歯の移動様式)	講義	2
10	歯科疾患の概要(顎骨、唾液腺及び口腔軟組織疾患、舌の疾患、口腔領域の神経の病変、全身疾患に関連する口腔病変) 口腔外科(口腔領域の炎症疾患、外傷、腫瘍性疾患、嚢胞性疾患および奇形) 臨床検査(X線検査、バイオブシー、血液検査、尿検査、血圧測定、細菌検査)	講義	2

う蝕・歯周予防処置法Ⅰ

時 間 数	120 時間	単位数	4 単位	配当年次	1 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために必要な知識と技術、態度を習得する。				
成績評価	試験（90％） 実技・授業態度（10％）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				
参 考 書	新歯科衛生士教本 歯科予防処置 最新歯科衛生士教本 歯周疾患				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科予防処置の概要	講義	2
2	口腔の基礎知識 1	講義	2
3	口腔の基礎知識 2	講義	2
4	う蝕と歯周病の基礎知識 1	講義	2
5	う蝕と歯周病の基礎知識 2	講義	2
6	う蝕と歯周病の基礎知識 3	講義	2
7	シックスケーラーの操作法	講義	2
8	シックスケーラーの操作法	講義	2
9	マネキン実習について	講義	2
10	マネキン実習について	講義	2
11	シックスケーラーマネキン基本練習 下顎前歯部（43. 42. 41. 31. 32. 33）	実習	2
12	シックスケーラーマネキン基本練習 下顎前歯部（43. 42. 41. 31. 32. 33）	実習	2
13	シックスケーラーマネキン基本練習 下顎前歯部（43. 42. 41. 31. 32. 33）	実習	2
14	シックスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
15	シックスケーラーマネキン基本練習 上顎前歯部（13. 12. 11. 21. 22. 23）	実習	2
16	シックスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
17	シックスケーラーマネキン基本練習 下顎右側臼歯部（47. 46. 45. 44）	実習	2
18	シックスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
19	シックスケーラーマネキン基本練習 上顎右側臼歯部（17. 16. 15. 14）	実習	2
20	シックスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
21	シックスケーラーマネキン基本練習 下顎左側臼歯部（37. 36. 35. 34）	実習	2
22	シックスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
23	シックスケーラーマネキン基本練習 上顎左側臼歯部（27. 26. 25. 24）	実習	2
24	シックスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
25	歯面研磨について	講義	2
26	歯面研磨マネキン実習	実習	2
27	歯面研磨相互実習	実習	2

28	歯面研磨相互実習	実習	2
29	キュレットスケーラーの操作法	講義	2
30	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎前歯部 (43. 42. 41. 31. 32. 33)	実習	2
31	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎前歯部 (13. 12. 11. 21. 22. 23)	実習	2
32	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎前歯部 (43. 42. 41. 31. 32. 33)	実習	2
33	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
34	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎前歯部 (13. 12. 11. 21. 22. 23)	実習	2
35	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
36	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎右側臼歯部 (47. 46. 45. 44)	実習	2
37	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
38	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎右側臼歯部 (17. 16. 15. 14)	実習	2
39	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
40	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎左側臼歯部 (37. 36. 35. 34)	実習	2
41	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
42	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎左側臼歯部 (27. 26. 25. 24)	実習	2
43	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実習	2
44	スケーリング相互実習について	講義	2
45	スケーリング相互実習について	講義	2
46	スケーリング相互実習について	講義	2
47	シクルスケーラー相互実習 下顎前歯部	実習	2
48	シクルスケーラー相互実習 下顎前歯部	実習	2
49	シクルスケーラー相互実習 下顎前歯部 上顎前歯部	実習	2
50	シクルスケーラー相互実習 下顎前歯部 上顎前歯部	実習	2
51	シクルスケーラー相互実習 下顎右側臼歯部	実習	2
52	シクルスケーラー相互実習 下顎右側臼歯部	実習	2
53	シクルスケーラー相互実習 下顎右側臼歯部 上顎右側臼歯部	実習	2
54	シクルスケーラー相互実習 下顎右側臼歯部 上顎右側臼歯部	実習	2
55	シクルスケーラー相互実習 上顎右側臼歯部	実習	2
56	シクルスケーラー相互実習 上顎右側臼歯部	実習	2
57	シクルスケーラー相互実習 下顎左側臼歯部	実習	2
58	シクルスケーラー相互実習 下顎左側臼歯部	実習	2
59	シクルスケーラー相互実習 上顎左側臼歯部	実習	2
60	シクルスケーラー相互実習 上顎左側臼歯部	実習	2

歯科保健指導法 I

時 間 数	90 時間	単位数	3 単位	配当年次	1 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	ライフステージ別に多様な生活習慣、健康状態にある個人、および集団に対して最も適した歯科保健行動がとれるように専門的立場から支援できる				
成績評価	筆記試験 (80%) 演習 (10%) 出席 (10%)				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論、口腔保健管理				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科保健指導の定義	講義	2
2	健康の定義	講義	2
3	保健指導とヘルスプロモーション	講義	2
4	口腔の付着物・沈着物	講義	2
5	う蝕と歯周疾患の基礎知識 1	講義	2
6	う蝕と歯周疾患の基礎知識 2	実習	2
7	口腔の観察 1	講義	2
8	口腔の観察 2	実習	2
9	口腔の観察 3	講義	2
10	口腔の観察 4	講義	2
11	口腔清掃法	講義	2
12	人工的清掃法の分類と用具 1	講義	2
13	人工的清掃法の分類と用具 2	実習	2
14	人工的プラークコントロールの実際 1	講義	2
15	人工的プラークコントロールの実際 2	実習	2
16	人工的プラークコントロールの実際 3	実習	2
17	口腔清掃の意義 1	講義	2
18	口腔清掃の意義 2	講義	2
19	口腔衛生指導 (患者役)	実習	2
20	口腔衛生指導 (患者役)	実習	2

21	ライフステージにおける歯科衛生活動 1	講義	2
22	ライフステージにおける歯科衛生活動 2－①	講義	2
23	ライフステージにおける歯科衛生活動 2－②	講義	2
24	ライフステージにおける歯科衛生活動 3－①	講義	2
25	ライフステージにおける歯科衛生活動 3－②	講義	2
26	ライフステージにおける歯科衛生活動 4－①	講義	2
27	ライフステージにおける歯科衛生活動 4－②	講義	2
28	ライフステージにおける歯科衛生活動 5－①	講義	2
29	ライフステージにおける歯科衛生活動 5－②	講義	2
30	ライフステージにおける歯科衛生活動 6－①	講義	2
31	ライフステージにおける歯科衛生活動 6－②	講義	2
32	ライフステージにおける歯科衛生活動 7－①	講義	2
33	ライフステージにおける歯科衛生活動 7－②	講義	2
34	ライフステージにおける歯科衛生活動 8－①	講義	2
35	ライフステージにおける歯科衛生活動 8－②	講義	2
36	媒体作成 1 テーマの決定	実習	2
37	媒体作成 2 内容の具体化	実習	2
38	媒体作成 3 内容の具体化	実習	2
39	媒体作成 4 台本の完成	実習	2
40	媒体作成 5 台本の手直し、録音、媒体作成	実習	2
41	媒体作成 6 台本の手直し、録音、媒体作成	実習	2
42	媒体作成 7 録音、媒体作成	実習	2
43	媒体作成 8 録音、媒体作成	実習	2
44	媒体作成 9 録音、媒体作成	実習	2
45	媒体作成 10 録音、媒体作成	実習	2

歯科診療補助法Ⅰ

時 間 数	90 時間	単位数	3 単位	配当年次	1 年
担 当 者	岡田英俊(非常勤講師)、石田喜紀(非常勤講師)、大木達也(非常勤講師)、齋藤龍一(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	歯科医療現場における診療の補助、介助とその共同動作、器材の準備、歯科材料の取り扱いを習得する。				
成績評価	筆記試験 (90%) 実習 (10%)				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助 (医歯薬出版) (第2版) 最新歯科衛生士教本 歯科材料 (医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本 歯科器械 (医歯薬出版)				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	1 章 歯科診療補助の概念 3 章 歯科診療における基礎知識	講義	2
2	歯科診療における受診の流れ 薬品 歯科材料の管理	講義	2
3	共同動作	講義	2
4	歯科材料の基礎知識	講義	2
5	印象材について	講義	2
6	印象材について	講義	2
7	衛生材料 綿栓	実習	2
8	衛生材料 綿栓 実習	実習	2
9	衛生材料 綿栓 検印	実習	2
10	仮封材の基礎知識	講義	2
11	仮封材 実習	実習	2
12	仮封材 検印	実習	2
13	模型用材料について	講義	2
14	石膏実習	実習	2
15	ワックス、金属材料	講義	2
16	成形修復材について	講義	2
17	成形修復材について	講義	2
18	トレー 印象材の取り扱い アルジネート実習	実習	2
19	アルジネート実習 (顎模型印象)	実習	2
20	印象材の取り扱い 寒天 実習	実習	2

21	印象材の取り扱い 寒天 実習	実習	2
22	印象材の取り扱い ゴム質 実習	実習	2
23	印象材の取り扱い ゴム質 実習	実習	2
24	その他の印象材 ワックス 一般診査用器械	講義	2
25	患者誘導 ライティング	講義	2
26	バキューム シリンジテクニック	講義	2
27	患者誘導 バキューム 相互実習	実習	2
28	患者誘導 バキューム 相互実習	実習	2
29	印象採得相互実習①	実習	2
30	印象採得相互実習①	実習	2
31	印象採得相互実習② 模型作製	実習	2
32	印象採得相互実習② 模型作製	実習	2
33	合着材	講義	2
34	合着材	講義	2
35	合着材 接着材 実習	実習	2
36	合着材 接着材 検印	実習	2
37	研磨と研磨剤 切削用機械について	講義	2
38	隔壁 分離法 コンポジットレジンの取り扱い実習	実習	2
39	積層コンポジットレジン充填 実習	実習	2
40	研磨実習	実習	2
41	スタディーモデル作製実習	実習	2
42	歯科麻酔薬と診療補助	講義	2
43	医療安全とヒヤリハット	講義	2
44	歯内療法関連材料、義歯床用材料	講義	2
45	まとめ	講義	2

感染予防学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	1 年
担 当 者	國分明子(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	歯科医療現場で感染予防ができるために、滅菌、消毒法と感染予防法について知識と技術を習得する。				
成績評価	筆記試験 (90%) 平常点 (10%)				
教 科 書					
参 考 書	感染予防対策と滅菌 消毒洗浄院内感染予防マニュアル				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科医療における感染症の概念	講義	2
2	歯科医療における感染予防対策	講義	2
3	手指消毒	講義	2
4	滅菌と消毒、その他の消毒法	講義	2
5	滅菌と消毒、その他の消毒法 ハイリスク患者の器材の取り扱い	講義	2
6	器具類の滅菌・消毒処理の実際	講義	2
7	医療廃棄物、感染症	講義	2
8	歯科衛生士のための感染予防スタンダード テスト	講義	2

国語表現及び読解

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位	配当年次	1 年
担 当 者	本多真史(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部勤務				
一般目標	日本語表現能力とはどのようなものであるかを理解し、歯科医療の学びに欠かせない知識・姿勢の他、他者とのコミュニケーションが円滑にいくような能力を体得することを目標とする。				
成績評価	定期試験、授業態度、各回の小テスト及び提出物の提出状況で評価し、60 点以上を合格とする。				
教 科 書	『読解現代文必携 キーワードの卵』 本多真史 尚文出版 2017				
参 考 書	『看護系学生のための日本語表現トレーニング』 野呂幾久子ほか編 三省堂 2013 『大学生のための日本語表現トレーニング』 橋本修・安部朋世・福嶋健伸編三省堂 2008				

	授業内容	授業形態	時間
1	オリエンテーション -歯科専門学校で日本語を学ぶ意義を理解しよう-	講義	2
2	自己紹介 -具体的に話そう-	講義	2
3	聴くスキル -具体的な体裁を身につけよう-	講義	2
4	確実なメモ -5 W 1 Hでチェックしよう-	講義	2
5	敬語基礎 -基本ルールをマスターしよう-	講義	2
6	伝えるスキル -相手がわかる説明をしよう-	講義	2
7	要約の仕方 -要約するためのポイントを知ろう-	講義	2
8	メールの書き方 -依頼メールの基本を学ぼう-	講義	2
9	履歴書の書き方 -しっかりとした履歴書を書こう-	講義	2
10	読解力向上演習 -国家試験を解くために-	講義	2

特別教養（華道）

時 間 数	18 時間	単位数	(1) 単位	配当年次	1 年
担 当 者	伊藤弘子(非常勤講師)				
実務経験					
一般目標	花を通し人間を磨いていく。花という自然の力に触れる、自分というものを見つめ直す、謙虚な姿勢が大事だと思います。				
成績評価					
教 科 書					
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	花を生けてみようー花を生けるについて 花の扱い方など はさみの使い方ー	実習	3
2	花の表情を見る	実習	3
3	自分のいかしたい花を決める	実習	3
4	主役の花をいかす 他の花材を見つける	実習	3
5	作品としてとらえる	実習	3
6	表現の内容を考える 花のモチーフ（季節感、行事他）を考える	実習	3

特別教養（茶道）

時 間 数	18 時間	単位数	(1) 単位	配当年次	1 年
担 当 者	伊藤弘子(非常勤講師)				
実務経験					
一般目標	茶の湯のこころを持ち、豊かに強く生きることができますように。				
成績評価					
教 科 書					
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	・お茶についてのお話（全員に）・歩き方・お茶の飲み方・お菓子のいただき方・お客様にお茶を運ぶ	実習	3
2	・割り稽古（ふくささばき 茶筌とおし 茶巾のあつかい） ・客としての心得（茶室について ・茶室の歩き方あわせて水屋の勉強（お茶をお客様に運ぶ）	実習	3
3	・お点前 最初（部分的に）→なつめ茶杓を清めるまで	実習	3
4	・お点前 最初（部分的に）→茶筌とおし 茶碗をふくまで	実習	3
5	・通し稽古 最初→お茶がでるまで ・客として 席入り 退出	実習	3
6	・通し稽古 お茶碗がもどる→最後 ・客として 席入り 退出	実習	3

2022年度 歯科衛生士科 第2学年 シラバス

[基礎分野]

心理学

コミュニケーション学

[専門分野]

保存修復学

歯内療法学

歯周療法学

歯科補綴学（冠橋義歯）

歯科補綴学（有床義歯）

歯科矯正学

口腔外科学

小児歯科学

う蝕・歯周予防処置法Ⅱ（歯周予防処置法）

う蝕・歯周予防処置法Ⅱ（う蝕予防処置法）

歯科保健指導法Ⅱ

栄養と人体

歯科診療補助法Ⅱ

臨床検査（生理学）

臨床検査（口腔衛生学）

臨床検査（歯科診療補助法）

歯科放射線学

麻酔・救急蘇生法

臨床実習・臨地実習Ⅰ

[選択必須分野]

看護学

接遇

心理学

時 間 数	30 間	単位数	2 単位	配当年次	2 年
担 当 者	鈴木敏城(非常勤講師)、佐藤 歩(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部勤務				
一般目標	心理学の全体にわたって幅広く考えていく。しかし、受講者が青年期にあることを考え、発達心理学、青年心理学、性格心理学には特に重点を置く。 また、医療従事者となることを踏まえ、他者援助の基本となる カウンセリング心理学及び臨床心理学も学んでいく。				
成績評価	試験成績・提出物・出席状況・聴講態度 の4項目から総合的に評価する。				
教 科 書	使用せず。毎回プリントを配布する。				
参 考 書	特に指定しない。必要があればその都度紹介する。				

	授業内容	授業形態	時間
1	心理学の概略と導入 心理学の各分野の概略と応用。	講義	2
2	発達心理学 生涯発達、発達段階、発達課題、発達危機、愛着障害、機能不全家族、発達障害	講義	2
3	青年心理学 青年期の発達課題とアイデンティティの確立。	講義	2
4	性格心理学 性格特性、性格と人生のテーマとの関連。	講義	2
5	ストレス心理学 ストレスの原因、ストレス反応、ストレスへの対処法。	講義	2
6	カウンセリング心理学① カウンセリングの各種理論と特徴。	講義	2
7	カウンセリング心理学② カウンセラーの態度、カウンセリングの方法と倫理。	講義	2
8	社会心理学 社会心理学、組織心理学、コミュニティ心理学。	講義	2
9	異文化間心理学 自分と価値観の異なる他者を、どう理解し、受容するか。	講義	2
10	臨床心理学① うつ病の予防と対応。	講義	2
11	臨床心理学② 統合失調症の予防と対応	講義	2
12	臨床心理学③ パーソナリティ障害の対応。	講義	2
13	医療と心理学 心身症、特に歯科医療と心理学との関係。	講義	2
14	災害心理学 災害時の心の問題と回復、災害時の集団心理	講義	2
15	まとめ	講義	2

コミュニケーション学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	2 年
担 当 者	吉田いくよ(非常勤講師)				
実務経験					
一般目標	他者と自己を理解し、よりよい人間関係の作り方を身につける。 具体的には、実践に即したロールプレイングによって表現を身に付ける。				
成績評価	出席状況及び授業態度、更に発表内容によって評価する。 また、適宜レポートを課す場合もある。				
教 科 書	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参 考 書	授業内で適宜紹介する。				

	授業内容	授業形態	時間
1	パフォーマンス学 双方向の「表現」を捉える。	講義	2
2	〃	講義	2
3	コミュニケーション 「自己と他者の違いを知る」ため、映像を使いロールプレイング	講義	2
4	〃	講義	2
5	電話応対 社会人として求められる基本応対を身に付ける	講義	2
6	〃	講義	2
7	試験、授業態度から評価を行う。授業で得た事の客観的な測定をし、論理として理解するだけでなく、体得し表現出来ているかを確認する。	講義	2
8	〃	講義	2

保存修復学

時 間 数	22 時間	単位数	1 単位	配当年次	2 年
担 当 者	山田嘉重(非常勤講師)、菊井徹哉(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯の硬組織疾患に対する治療に際し適切な補助を行うために、必要な知識を習得する				
成績評価	定期試験時に客観式および論述式試験を行い評価し、60 点以上を合格とする。				
教 科 書	歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法 全国歯科衛生士教育協議会 監修				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	歯の保存療法の種類、口腔診査	講義	2
2	保存修復の概要、保存修復学とは、窩洞と保存修復治療	講義	2
3	保存修復治療の概要、保存修復治療の準備、歯の切削、窩洞形成	講義	2
4	歯髄の保護、保存修復法の種類	講義	2
5	コンポジットレジン修復① 組成と種類	講義	2
6	コンポジットレジン修復② 特徴、適応症、修復手順	講義	2
7	セメント修復	講義	2
8	インレーおよびアンレー修復	講義	2
9	ベニア修復、合着材および接着材	講義	2
10	保存修復における歯科衛生士の役割	講義	2
11	保存修復 まとめ テスト対策	講義	2

歯内療法学

時 間 数	22 時間	単位数	1 単位	配当年次	2 年
担 当 者	佐藤穂子(非常勤講師)、長崎慶太(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯の硬組織、歯髄および根尖歯周組織などの疾病に対する予防と治療を行うために基本的な知識、技能および態度を習得する。				
成績評価	定期試験の結果により評価する。期末試験欠席者に対し、追試験を行う。また、必要に応じて再試験を行う。				
教 科 書	歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法 全国歯科衛生士教育協議会 監修				
参 考 書	教科書に追加する資料として担当教員が作成したプリントを配布する。				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯内療法の概要（その１）	講義	2
2	歯内療法の概要（その２）	講義	2
3	歯髄の保存療法	講義	2
4	歯髄 除去療法	講義	2
5	根管治療、根管充填（その１）	講義	2
6	根管治療、根管充填（その２）	講義	2
7	外科的歯内療法	講義	2
8	歯の外傷	講義	2
9	歯内療法における安全対策	講義	2
10	歯内療法における歯科衛生士の役割	講義	2
11	歯のホワイトニング	講義	2

歯周療法学

時 間 数	22 時間	単位数	1 単位	配当年次	2 年
担 当 者	高橋慶壮(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯周病の治療と予防を行うために、歯周組織の常態、疾患の特徴および治療方法について、基本的な知識を修得する。				
成績評価	記述式の定期試験にて評価し、60 点以上を合格とする。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯周疾患（医歯薬出版株式会社）				
参 考 書	なし				

	授業内容	授業形態	時間
1	正常歯周組織の構造と機能	講義	2
2	歯周疾患の分類	講義	2
3	歯周疾患の原因	講義	2
4	歯周病のリスク因子	講義	2
5	歯周疾患の診査	講義	2
6	歯周基本治療 1 （治療の全体像、プラークコントロール）	講義	2
7	歯周基本治療 2 （スケーリング・ルートプレーニング）	講義	2
8	歯周外科治療 1 （分類、治癒形態、器具、術式）	講義	2
9	歯周外科治療 2 （術式の続き）、根分岐部病変、歯周-歯内病変	講義	2
10	歯周治療としてのリハビリテーション （咬合調整、矯正治療、暫間固定、欠損補綴、インプラント）	講義	2
11	メンテナンス	講義	2

歯科補綴学（冠橋義歯）

時 間 数	16(32)時間	単位数	1(2)単位	配当年次	2 年
担 当 者	羽鳥弘毅(非常勤講師)、雨宮幹樹(非常勤講師)、伊藤 歩(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部、奥羽大学歯学部附属病院で歯科医師として勤務				
一般目標	歯質、少数歯の欠損にともなって生じた形態、機能、および外観上の障害を人工歯冠によって回復、あるいは橋義歯によって回復する際に、歯科医師と連携して診療補助を行うために必要な冠橋義歯補綴の知識を習得する。				
成績評価	全講義終了後に試験を行い、60 点以上を合格とする。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴（医歯薬出版）				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	冠橋義歯による補綴治療とは	講義	2
2	冠橋義歯補綴治療の基礎知識	講義	2
3	クラウン、ブリッジの種類	講義	2
4	冠橋義歯補綴治療の流れ	講義	2
5	全部被覆冠	講義	2
6	部分被覆冠	講義	2
7	ブリッジ	講義	2
8	予後管理	講義	2

歯科補綴学（有床義歯）

時 間 数	16(32)時間	単位数	1(2)単位	配当年次	2 年
担 当 者	山森徹雄(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	無歯顎患者および部分欠損患者の口腔機能を回復して健康の維持・増進を図るために、有床義歯の臨床的意義と製作過程、患者指導についての理論を修得する。				
成績評価	講義中の試問により形成的評価を行い、筆記試験により総括的評価を行う。60 点以上を合格とする。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴（医歯薬出版）				
参 考 書	なし				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科補綴治療の基礎知識 (1) 顎口腔系の解剖と機能 (2) 歯の喪失に伴う変化	講義	2
2	全部床義歯の臨床 1 (1) 分類と構成要素 (2) 臨床ステップ概説	講義	2
3	全部床義歯の臨床 2 (1) 臨床操作①	講義	2
4	全部床義歯の臨床 3 (1) 臨床操作② (2) 技工操作	講義	2
5	部分床義歯の臨床 1 (1) 分類 (2) 構成要素①	講義	2
6	部分床義歯の臨床 2 (1) 構成要素② (2) 臨床操作①	講義	2
7	部分床義歯の臨床 3 (1) 臨床操作② (2) 技工操作	講義	2
8	特殊な名称をもつ義歯と有床義歯の補修 (1) 治療目的や構成による特殊な名称 (2) 補修と患者指導	講義	2

歯科矯正学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	2 年
担 当 者	板橋 仁(非常勤講師)、黒田栄子(非常勤講師)、山野辺晋也(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科矯正学についての知識を身につけるために成長発育、咬合、矯正治療の実際、器具等について学び、矯正臨床における歯科衛生士の役割について理解する。				
成績評価	定期試験の成績によって評価し、60 点以上を合格とする。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 2 歯科矯正学 (医歯薬出版)				
参 考 書	第 5 版 歯科矯正学 (医歯薬出版)				

	授業内容	授業形態	時間
1	概論・成長発育 1 (頭部・顎)	講義	2
2	成長発育 2 (歯・歯列)	講義	2
3	正常咬合	講義	2
4	不正咬合 1	講義	2
5	不正咬合 2・矯正歯科診断 1	講義	2
6	矯正歯科診断 2	講義	2
7	矯正歯科治療と“力”(矯正力・顎整形力・保定)	講義	2
8	矯正装置	講義	2
9	上下顎の前後的關係の不調和 上下顎の垂直的關係の不調和 成人矯正	講義	2
10	口腔顎顔面の形成異常と変形 歯の埋伏と歯数の異常	講義	2
11	矯正歯科治療時のトラブルへの対応 健康保険が適用される矯正歯科治療 矯正歯科診断にかかわる業務	講義	2
12	矯正歯科診療時の業務 1	講義	2
13	矯正歯科診療時の業務 2	講義	2
14	矯正歯科患者と口腔保健管理・MFT	講義	2
15	器材、資料、文書の管理・まとめ	講義	2

口腔外科学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	2 年
担 当 者	高田 訓(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	顎・口腔領域の疾患に罹患した患者の健康の増進を図るために、顎・口腔領域に生じる疾患の定義、成因、原因、分類を含めた総論的な知識と手術総論・小手術学の知識を習得する。				
成績評価	定期試験にて評価し、60 点以上を合格とする。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	口腔外科の概要	講義	2
2	顎・口腔領域の先天異常と発育異常	講義	2
3	顎・口腔領域の損傷および機能障害	講義	2
4	口腔粘膜の病変 (1)	講義	2
5	口腔粘膜の病変 (2)	講義	2
6	顎・口腔領域の化膿性炎症疾患	講義	2
7	顎・口腔領域の嚢胞性疾患	講義	2
8	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	講義	2
9	唾液腺疾患	講義	2
10	口腔領域の神経疾患	講義	2
11	口腔外科診療の実際 (1)	講義	2
12	口腔外科診療の実際 (2)	講義	2
13	口腔外科の臨床における 歯科衛生士のかかわり (1)	講義	2
14	口腔外科の臨床における 歯科衛生士のかかわり (2)	講義	2
15	復習とまとめ	講義	2

小児歯科学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	2 年
担 当 者	島村和宏(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	小児の口腔の健康維持、正常な歯列・咬合の育成をはかるために、成長発育（心身の発育）について学び、小児の口腔発育・発達および種々の口腔疾患を理解して、その治療法と予防法並びに介補についての知識と技術を習得する。				
成績評価	学年末に筆記形式の定期試験で形成的評価を行う。なお定期試験において学力が不十分と判断された場合は再試験を行う。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 小児歯科				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	小児歯科学概論、心身の発育	講義	2
2	小児の生理的特徴、顎顔面頭蓋の発育	講義	2
3	歯の発育と異常	講義	2
4	歯列・咬合の発育と異常	講義	2
5	小児の歯科疾患、乳歯・幼若永久歯のう蝕、歯周疾患	講義	2
6	口腔軟組織の異常と疾患	講義	2
7	小児期の特徴と歯科的問題点、小児歯科診療の特徴・原則	講義	2
8	診査・診断、母親教室、小児歯科における麻酔法	講義	2
9	小児の歯冠修復、小児の歯内療法	講義	2
10	小児の歯内療法、小児の外科的処置、外傷の処置	講義	2
11	咬合誘導、フッ化ジアミン銀塗布、定期診査	講義	2
12	患児・保護者との関係、小児への歯科的対応法	講義	2
13	障害児の歯科治療、歯科衛生士の役割（診察・検査時の業務）	講義	2
14	歯科衛生士の役割（う蝕予防）、診療補助 1（保存修復、歯内療法）	講義	2
15	診療補助 2（外科的処置、咬合誘導）、口腔保健管理、資器材管理	講義	2

う蝕・歯周予防処置法Ⅱ（歯周予防処置法）

時 間 数	88(120)時間	単位数	2(3)単位	配当年次	2 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	歯科臨床の場で、う蝕・歯周予防処置を行うにあたり、必要な知識と技術、態度をマネキン実習・学生相互実習を通し習得する。				
成績評価	試験（90%） 実技・授業態度（10%）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	相互実習のまとめ	講義	2
2	超音波スケーラー、エアースケーラーについて	講義	2
3	超音波スケーラー、エアースケーラーについて	講義	2
4	歯面清掃器について	講義	2
5	超音波スケーラー、エアースケーラー模型実習	実習	2
6	プロービングについて	講義	2
7	プロービングについて	講義	2
8	PMT Cについて	講義	2
9	PMT Cについて	講義	2
10	プロービングマネキン実習	実習	2
11	プロービングマネキン実習	実習	2
12	術前説明原稿作成実習	実習	2
13	術前説明原稿作成実習	実習	2
14	プロービング相互実習 事前説明	実習	2
15	プロービング相互実習 ①	実習	2
16	プロービング相互実習 ②	実習	2
17	プロービング相互実習 ③	実習	2
18	PMT C相互実習 事前説明	実習	2
19	PMT C相互実習 ①	実習	2
20	PMT C相互実習 ②	実習	2
21	PMT C相互実習 ③	実習	2
22	キュレットスケーラー相互実習 下顎前歯部 ①	実習	2
23	キュレットスケーラー相互実習 下顎前歯部 ②	実習	2
24	キュレットスケーラー相互実習 下顎前歯部 ③	実習	2
25	キュレットスケーラー相互実習 上顎前歯部 ①	実習	2
26	キュレットスケーラー相互実習 上顎前歯部 ②	実習	2
27	キュレットスケーラー相互実習 上顎前歯部 ③	実習	2
28	キュレットスケーラー相互実習 上下顎右側臼歯部 ①	実習	2
29	キュレットスケーラー相互実習 上下顎右側臼歯部 ②	実習	2
30	キュレットスケーラー相互実習 上下顎右側臼歯部 ③	実習	2
31	キュレットスケーラー相互実習 上下顎左側臼歯部 ①	実習	2
32	キュレットスケーラー相互実習 上下顎左側臼歯部 ②	実習	2
33	キュレットスケーラー相互実習 上下顎左側臼歯部 ③	実習	2
34	業務記録について	講義	2
35	口腔内写真撮影について	講義	2
36	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ①	実習	2
37	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ②	実習	2
38	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ③	実習	2
39	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ④	実習	2
40	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ⑤	実習	2
41	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ⑥	実習	2
42	口腔内写真整理 まとめ	実習	2
43	シャープニング実習	実習	2
44	シャープニング実習	実習	2

う蝕・歯周予防処置法Ⅱ（う蝕予防処置法）

時 間 数	32(120)時間	単位数	1(3)単位	配当年次	2 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	歯科臨床の場で、う蝕・歯周予防処置を行うにあたり、必要な知識と技術、態度をマネキン実習・学生相互実習を通し習得する。				
成績評価	試験（90％） 実技・授業態度（10％）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	う蝕予防処置法について	講義	2
2	フッ化物応用について	講義	2
3	フッ化物局所応用について	講義	2
4	フッ化物の中毒について	講義	2
5	フッ化ジアンミン銀塗布法について	講義	2
6	小窩裂溝填塞法について ①	講義	2
7	小窩裂溝填塞法について ②	講義	2
8	抜去歯牙応用法	実習	2
9	抜去歯牙応用法	実習	2
10	相互実習（小窩裂溝填塞法）	実習	2
11	相互実習（小窩裂溝填塞法）	実習	2
12	相互実習（フッ化物塗布）	実習	2
13	相互実習（フッ化物塗布）	実習	2
14	集団応用法	実習	2
15	集団応用法	実習	2
16	う蝕予防処置法まとめ	講義	2

歯科保健指導法Ⅱ

時 間 数	90 時間	単位数	3 単位	配当年次	2 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	ライフステージ別に多様な生活習慣、健康状態にある個人、および集団に対して最も適した歯科保健行動がとれるように専門的立場から支援できる				
成績評価	筆記試験 (80%) 演習 (10%) 出席 (10%)				
教 科 書	新歯科衛生士教本 歯科保健指導、最新歯科衛生士教本 口腔保健管理				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	媒体作製 10 総合練習	実習	2
2	媒体作製 10 総合練習	実習	2
3	媒体作製 11 媒体発表会	実習	2
4	媒体作製 11 媒体発表会	実習	2
5	対象別歯科保健指導 乳幼児― 4	講義	2
6	対象別歯科保健指導 学童期― 1	講義	2
7	対象別歯科保健指導 学童期― 2	講義	2
8	対象別歯科保健指導 学童期― 3	講義	2
9	小学校歯みがき指導の実際	講義	2
10	対象別歯科保健指導 青少年期	講義	2
11	対象別歯科保健指導 成人期	講義	2
12	対象別歯科保健指導 老人期	講義	2
13	対象別歯科保健指導 妊産婦― 1	講義	2
14	対象別歯科保健指導 妊産婦― 2	講義	2
15	対象別歯科保健指導 妊産婦― 3	講義	2
16	対象別歯科保健指導 障害者― 1	講義	2
17	対象別歯科保健指導 障害者― 2	講義	2
18	対象別歯科保健指導 要介護者	講義	2
19	口腔観察法Ⅱ 歯肉の炎症に関する指数	講義	2
20	口腔観察法Ⅲ 舌頬粘膜観察実習	実習	2
21	口腔観察法Ⅲ 舌頬粘膜観察実習	実習	2
22	歯みがき指導の実際	講義	2
23	歯科保健指導の方法	講義	2

24	口腔衛生指導（相互実習）	実習	2
25	口腔衛生指導（相互実習）	実習	2
26	口腔衛生指導（1年生対象）	実習	2
27	口腔衛生指導（1年生対象）	実習	2
28	訪問口腔衛生指導	講義	2
29	訪問口腔衛生指導	実習	2
30	訪問口腔衛生指導	実習	2
31	対象把握	講義	2
32	対象把握	講義	2
33	対象把握	講義	2
34	面接、問診	講義	2
35	面接、問診	講義	2
36	面接、問診	講義	2
37	面接、問診	講義	2
38	集団指導	講義	2
39	集団指導	講義	2
40	集団指導	講義	2
41	集団指導	講義	2
42	集団指導	講義	2
43	小学校保健指導実習	実習	2
44	小学校保健指導実習	実習	2
45	小学校保健指導実習	実習	2

栄養と人体

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位	配当年次	2 年
担 当 者	廣瀬公治(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
担 当 者	長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	個人あるいは集団の人々に対して、歯科疾患、口腔機能の育成、維持を考慮したライフステージ別の栄養、食生活指導を行う能力を身につける。				
成績評価	筆記試験 90% 実習態度 10%				
教 科 書	新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	食生活の概要	講義	2
2	食生活の基礎	講義	2
3	食生活と食品	講義	2
4	食生活とライフステージ	講義	2
5	糖（ショ糖）と齲蝕発症との関連	講義	2
6	低齲蝕原性甘味料について 咀嚼の意義	講義	2
7	食生活把握法	講義	2
8	食品の成分	講義	2
9	幼児食の考え方と指導	講義	2
10	特殊患者への食事指導	講義	2
11	調理計画	講義	2
12	調理実習	実習	2
13	調理実習	実習	2
14	食生活把握法実習	講義	2
15	食生活把握法実習	講義	2

歯科診療補助法Ⅱ

時 間 数	60 時間	単位数	2 単位	配当年次	2 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	歯科医療現場における診療の補助、介助とその共同動作、器材の準備、歯科材料の取り扱いが出来るようにする。				
成績評価	筆記試験 (90%) 実習 (10%)				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 (医歯薬出版) 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い (医歯薬出版) 新歯科衛生士教本 歯科器械の知識と取り扱い (医歯薬出版)				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	ラバーダム防湿法 (マネキン実習)	講義	2
2	ラバーダム防湿法 (マネキン実習)	実習	2
3	ラバーダム防湿法 (相互実習)	実習	2
4	ラバーダム防湿法 (相互実習)	実習	2
5	歯肉排除、歯肉包帯材について	講義	2
6	歯肉排除、歯肉包帯材について (マネキン実習)	実習	2
7	歯肉排除、歯肉包帯材について (相互実習)	実習	2
8	暫間被覆冠作製実習 (既成冠)	実習	2
9	暫間被覆冠作製実習 (既成冠)	実習	2
10	暫間被覆冠作製実習 (印象採得利用)	実習	2
11	暫間被覆冠作製実習 (印象採得利用)	実習	2
12	臨床実習に臨んでの心得	講義	2
13	臨床実習直前 (各種練和)	実習	2
14	臨床実習直前 (衛生材料)	実習	2
15	歯と歯周の診療用器材	講義	2
16	保存修復時のセッティング	講義	2
17	歯内療法用器材	講義	2
18	歯内療法時のセッティング	講義	2
19	歯周療法時のセッティング	講義	2
20	補綴用器材 (鑄造冠)	講義	2
21	補綴用器材 (床義歯)	講義	2
22	補綴治療時のセッティング	講義	2
23	口腔外科、麻酔用器材	講義	2
24	小外科手術時の器材の取り扱い	講義	2
25	口腔外科手術時のセッティング	講義	2
26	小児歯科用器材	講義	2
27	小児歯科治療時のセッティング	講義	2
28	歯科矯正用器材	講義	2
29	歯科矯正治療時のセッティング	講義	2
30	セッティングチェック	実習	2

臨床検査（生理学）

時 間 数	10(30)時間	単位数	(1)単位	配当年次	2 年
担 当 者	川合宏仁(非常勤講師)、富田 修(非常勤講師)、大須賀謙二(非常勤講師)、古山 昭(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科衛生士として患者と接する上で必要な臨床検査の概要を理解し、その方法を習得するとともに、検査で得られたデータが表す意味や正常値を理解することを目的とする。				
成績評価	履修態度 50%（出席・小テスト・レポート） 期末試験 50%				
教 科 書	新歯科衛生士教本「歯科診療補助 臨床検査法」（医歯薬出版）				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	血液検査Ⅰ 血液の概要と検査の意義 検査の種類と採血法	講義	2
2	血液検査Ⅱ 出血性素因の概要と分類 検査の種類と方法	講義	2
3	生理検査（生体検査） 体温・脈拍・血圧・心電図測定の意義と方法	講義	2
4	実習 血液型検査・出血時間・血圧測定・スパイログラム・心電図測定	実習	2
5	実習 血液型検査・出血時間・血圧測定・スパイログラム・心電図測定	実習	2

臨床検査（口腔衛生学）

時 間 数	8(30)時間	単位数	(1)単位	配当年次	2 年
担 当 者	大橋 明石(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
担 当 者	菅野 明子(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	口腔試料および生体試料の臨床検査結果をもとに 健康・疾病・異常に対する適切な保健指導ができるようになるために、生体試料の採取法と検査に必要な基本的な知識、技能、態度を修得する。				
成績評価	筆記試験（80%）、授業態度およびレポート（10%）、出欠有無（10%）				
教 科 書					
参 考 書	保健生態学				

	授業内容	授業形態	時間
1	生体検査、唾液の検査	実習	2
2	生体検査、唾液の検査	実習	2
3	口腔検査、齲蝕活動性試験	実習	2
4	口腔検査、齲蝕活動性試験	実習	2

臨床検査（歯科診療補助）

時 間 数	12(30)時間	単位数	(1)単位	配当年次	2 年
担 当 者	高田 訓(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
担 当 者	菅野 明子(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	検査の結果を歯科指導に役立たせる。				
成績評価	試験、レポート				
教 科 書					
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	位相差顕微鏡、咬合圧	実習	2
2	う蝕活動性試験の判定結果について	講義	2
3	う蝕活動性試験について ①	講義	2
4	う蝕活動性試験について ②	講義	2
5	実習 静脈血採血・皮内テスト 血液検査伝票について	講義	2
6	実習 静脈血採血・皮内テスト 血液検査伝票について	実習	2

歯科放射線学

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位	配当年次	2 年
担 当 者	渡部剛史(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で診療放射線技師として勤務				
一般目標	より安全で良質な歯科診療と診療補助を患者に提供するためにX線撮影に関する知識、技能、態度を習得する。				
成績評価	積極的な聴講態度、試験				
教 科 書	最新歯科衛生士教本「歯科放射線学」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版株式会社				
参 考 書	歯科衛生士 国家試験問題集				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科放射線を学ぶ意義について 放射線の基礎的知識について	講義	2
2	放射線とX線の特徴・性質について 歯科用X線装置の基本構造・種類について	講義	2
3	X線撮影の機材について	講義	2
4	口内法撮影の原理・方法について (フィルム・デジタル)	講義	2
5	口外法撮影の原理・方法について (フィルム・デジタル)	講義	2
6	現像の原理・フィルムの管理について	講義	2
7	放射線の人体影響と患者・術者の防護について	講義	2
8	放射線治療の方法と副作用に対するケアについて	講義	2
9	C T、MR I、超音波検査について	講義	2
10	復習とまとめ	講義	2

麻酔・救急蘇生法

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位	配当年次	2 年
担 当 者	山崎信也(非常勤講師)、田中克典(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部、奥羽大学歯学部附属病院で歯科医師として勤務				
一般目標	安全で苦痛のない歯科診療補助を実践するために必要な麻酔・救急蘇生法の知識を習得する。				
成績評価	試験結果、出席率、授業態度からの総合点で評価する。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版				
参 考 書	佐々木次郎ほか、 歯科医の知っておきたい医学常識 103 選デンタルダイヤモンド社、東京				

	授業内容	授業形態	時間
1	歯科麻酔学概論	講義	2
2	局所麻酔法	講義	2
3	全身麻酔法	講義	2
4	精神鎮静法	講義	2
5	有病者と歯科治療Ⅰ	講義	2
6	有病者と歯科治療Ⅱ	講義	2
7	偶発症と救急処置Ⅰ	講義	2
8	偶発症と救急処置Ⅱ	講義	2
9	救急蘇生法Ⅰ	講義	2
10	救急蘇生法Ⅱ	実習	2

臨床実習・臨地実習 I

時 間 数	495 時間	単位数	11 (22) 単位	配当年次	2 年
担 当 者	臨床実習指導者				
実務経験	臨床実習先で歯科医師及び歯科衛生士として勤務				
一般目標	臨床実習を通じて、歯科衛生士としての業務を行うために必要な知識や技術、態度を習得する。				
成績評価	出席率 実習記録 実習指導者からの評価を総合し単位評価をする				
教 科 書					
参 考 書					

	実習内容	授業形態	時間
	①臨床見学実習	実習	495
	②病院実習		
	・ 歯科診療補助・ 歯科予防処置・ 歯科保健指導・ 外科的処置、症例見学		
	③歯科診療所実習		
	・ 歯科診療補助・ 歯科予防処置・ 歯科保健指導		
	④施設実習（高齢者施設 心身障がい者（児）施設等）		
	⑤フィールド実習（保育所 幼稚園 小学校 支援学校等）		
	④施設実習（高齢者施設 心身障がい者（児）施設等）		
	⑤フィールド実習（保育所 幼稚園 小学校 支援学校等）		

看護学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	2 年
担 当 者	渡部敏恵(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院で看護師として勤務				
一般目標	1. 歯科診療における看護知識および看護技術を習得する。 2. 歯科診療上、患者に適切な援助ができる。				
成績評価	試験(60点以上)、出席状況・聴講態度などから総合的に評価する。				
教 科 書	歯科衛生士のための看護学大意 医歯薬出版				
参 考 書	歯科医療における感染予防と滅菌・消毒・洗浄 医歯薬出版				

	授業内容	授業形態	時間
1	1. 病院における歯科衛生士の役割	講義	2
2	2. 看護理念 1) 看護歴史	講義	2
3	2) 患者とのコミュニケーションと患者の支援(看護技術)	講義	2
4	3) チーム医療	講義	2
5	3. 感染対策 1) 歯科医療における標準予防対策	講義	2
6	2) 感染経路別予防対策	講義	2
7	4. 洗浄・消毒・滅菌	講義	2
8	5. 口腔内ケアの看護 1) 摂食(看護技術) 2) 口腔内ケア	講義	2
9	6. 救急時の看護 1) バイタルサインについてと測定方法(看護技術)	講義	2
10	2) 救急時の対応	講義	2
11	7. 患者の観察および治療経過の記録作成(POS・SOAPも含む)	講義	2
12	8. 病院外来患者の看護	講義	2
13	9. 入院を要する患者の看護	講義	2
14	10. おもな疾患とその看護	講義	2
15	11. 医療安全対策(インシデント・アクシデントとその対応も含む)	講義	2

接遇

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	2 年
担 当 者	石河香子(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院で歯科衛生士として勤務				
一般目標	歯科スタッフとしてのマナーを習得する。				
成績評価	筆記試験・レポート(90%) 平常点(10%)				
教 科 書	歯科スタッフのマナーと実践マニュアル				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	デンタルスタッフの一員として	講義	2
2	社会人としての基本的なマナー	講義	2
3	一日の仕事の流れ	講義	2
4	患者さんとの対応例	講義	2
5	トラブル対応について	講義	2
6	いろいろな業務	講義	2
7	対応実習	講義	2
8	まとめ、レポート作成	講義	2

2022年度 歯科衛生士科 第3学年 シラバス

- [専門基礎分野] 歯科衛生統計
衛生行政・社会福祉
- [専門分野] 高齢者歯科学
障害者歯科学
う蝕・歯周予防処置法Ⅲ
口腔保健管理法
歯科保健指導法Ⅲ
歯科診療補助法Ⅲ
基礎介護
臨床実習・臨地実習Ⅱ
- [選択必須分野] 摂食嚥下
社会保険請求
研修・卒業研究
技工実習

歯科衛生統計

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	廣瀬公治(非常勤講師)、小林美智代(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科衛生士の日常業務に統計学的処理を役立てるには歯科保健、口腔衛生を基礎に、歯科衛生統計処理を修得することが大切である。そして、歯科衛生士が歯科医療の場で歯科衛生統計を活用できる能力を習得する。授業では数値理論や難解な計算式を最小限に止め、実用的な問題から統計手法の理解を高める実務統計学を展開する。また、将来歯科衛生士として歯科臨床・保健領域の職種に携わることを考慮して、歯科衛生の検定法・評価を取入れて歯科保健データの解析を理解する。				
成績評価	筆記試験(80%)，授業態度およびレポート(10%)，出欠有無(10%)				
教 科 書	保健情報統計学(医歯薬出版社)				
参 考 書	国民衛生の動向				

	授業内容	授業形態	時間
1	概論(情報の性質、統計処理の考え方、歯科衛生統計の意味・目標)	講義	2
2	概論(情報収集の進め方、情報の整理、手順、集計、分析方法)	講義	2
3	う蝕の検出基準、う蝕を表現する指標 (def, DMF)	講義	2
4	歯周疾患の検出基準、歯周疾患を表す指標	講義	2
5	歯口清掃状態の検出基準、歯口清掃状態を表す指標	講義	2
6	母集団と標本、無作為抽出、	講義	2
7	度数分布、代表値(平均値、中央値、最頻値)	講義	2
8	分散度(範囲、分散、標準偏差、変異係数)	講義	2
9	相関(相関係数、決定係数、回帰直線、相関図)	講義	2
10	検定1(相関係数の検定)、順位相関	講義	2
11	検定1(相関係数の検定)、順位相関等の演習	演習	2
12	検定2(対応のある平均値差検定)	講義	2
13	検定2(対応のある平均値差検定)の演習	演習	2
14	検定3(χ^2 検定)とその演習	演習	2
15	歯科衛生統計学試験	講義	2

衛生行政・社会福祉

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位	配当年次	3 年
担 当 者	廣瀬公治(非常勤講師)、南 健太郎(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科衛生士として業務に従事する際に知らなければならない法律の概要を学ぶ。				
成績評価	定期試験を主とし、総合的に評価する。				
教 科 書	歯科衛生士と法律（医歯薬出版）				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	法制概論－ 1	講義	2
2	法制概論－ 2	講義	2
3	衛生行政の概要	講義	2
4	保健と医療の動向	講義	2
5	歯科医師法、歯科技工士法	講義	2
6	歯科衛生士法－ 1	講義	2
7	歯科衛生士法－ 2	講義	2
8	その他の医療従事者の身分法	講義	2
9	地域保健関連法規－ 1	講義	2
10	地域保健関連法規－ 2	講義	2
11	社会福祉の目的及び組織	講義	2
12	生活保護法	講義	2
13	母子福祉	講義	2
14	老人福祉	講義	2
15	障害者（児）福祉	講義	2

高齢者歯科学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	清野晃孝(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	高齢者の歯科医療に係わる技術的な知識はもちろん、種々の病気と付き合いながら生活している高齢者の心と身体に、どう接するかを含めた知識と技術、態度を習得する。				
成績評価	定期試験により総括的評価を実施する。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	①高齢者の現状 ②高齢者の健康と疾病	講義	2
2	③高齢者の口腔 ④高齢者に多い口腔領域の疾患	講義	2
3	⑤高齢者と薬剤 ⑥高齢者の歯科診療における歯科衛生士の役割	講義	2
4	⑦高齢者の歯科診療の実際と歯科診療補助	講義	2
5	⑧高齢者の口腔保健管理	講義	2
6	⑨高齢者の歯科保健指導の実際と留意点	講義	2
7	⑩要介護高齢者の現状 ⑪要介護高齢者と歯科衛生士	講義	2
8	⑫訪問歯科保健指導の実際	講義	2

障害者歯科学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	佐々木重夫(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	障害者に対して歯科保健医療を提供するために、障害者に係わる社会保障制度や口腔衛生管理に関する基本的知識を習得する。				
成績評価	客観試験にて行う。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 障害者歯科				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	障害者の現況	講義	2
2	障害の種類と歯科的特徴 1	講義	2
3	障害の種類と歯科的特徴 2	講義	2
4	障害の種類と歯科的特徴 3	講義	2
5	障害者の歯科診療	講義	2
6	障害者における歯科診療補助	講義	2
7	障害者の口腔保健管理 B／障害者の体験 A	実習	2
8	障害者の口腔保健管理 A／障害者の体験 B	実習	2

う蝕・歯周予防処置法Ⅲ

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	臨床の現場における歯科衛生士の役割と業務を理解し、実践できる知識と技術、態度を習得する。				
成績評価	試験（90％） 実技・授業態度（10％）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	口腔の基礎知識	講義	2
2	う蝕と歯周病の基礎知識	講義	2
3	手用スクレーパー シックルスクレーパー	講義	2
4	手用スクレーパー キュレットスクレーパー	講義	2
5	プロービング	講義	2
6	超音波・エアースクレーパー・歯面清掃器	講義	2
7	シャープニング	講義	2
8	項目別テスト ①	講義	2
9	項目別テスト ②	講義	2
10	項目別テスト ③	講義	2
11	う蝕予防処置について ①	講義	2
12	う蝕予防処置について ②	講義	2
13	う蝕活動性試験について	講義	2
14	う蝕予防処置 テスト・解説	講義	2
15	予防処置定期テスト	講義	2

口腔保健管理法

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	生涯を通じた継続的な口腔保健管理法をライフステージごとに実践できる能力を身につけることを目的に、対象者の把握、計画立案、実施、評価を学ぶ。				
成績評価	筆記試験、レポート、演習、出席により総合評価				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 口腔保健管理				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	口腔保健の意義	講義	2
2	対象把握と予防管理法	講義	2
3	口腔保健管理演習 ①	演習	2
4	口腔保健管理演習 ②	演習	2
5	口腔保健管理演習 ③	演習	2
6	口腔保健管理演習 ④	演習	2
7	口腔保健管理演習 ⑤	演習	2
8	口腔保健管理演習 ⑥	演習	2
9	口腔保健管理演習 ⑦	演習	2
10	口腔保健管理演習 ⑧	演習	2

歯科保健指導法Ⅲ

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	ライフステージ別に多様な生活習慣、健康状態にある個人、および集団に対して最も適した歯科保健行動がとれるように専門的立場から支援できる。				
成績評価	筆記試験 (80%) 演習 (10%) 出席 (10%)				
教 科 書	新歯科衛生士教本 歯科保健指導、最新歯科衛生士教本 口腔保健管理				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	小学校 歯科保健指導実習	実習	2
2	小学校 歯科保健指導実習	実習	2
3	口腔保健教育	講義	2
4	口腔保健教育	講義	2
5	口腔保健教育	講義	2
6	成人歯科保健指導	講義	2
7	成人歯科保健指導	講義	2
8	成人歯科保健指導	講義	2
9	成人歯科保健指導	講義	2
10	成人歯科保健指導	講義	2
11	症例検討法	講義	2
12	症例検討法	講義	2
13	症例検討法	講義	2
14	情報収集、整理	講義	2
15	情報収集、整理	講義	2

歯科診療補助法Ⅲ

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	歯科医療現場における診療の補助、介助とその共同動作、器材の準備、歯科材料の取り扱いが出来るようにする。				
成績評価	筆記試験（90％） 実習（10％）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論（医歯薬出版） 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い（医歯薬出版） 新歯科衛生士教本 歯科器械の知識と取り扱い（医歯薬出版）				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	暫間被覆冠③（即重レジン）	実習	2
2	暫間被覆冠③（即重レジン）	実習	2
3	全身疾患をもつ患者と歯科診療補助	実習	2
4	全身疾患をもつ患者と歯科診療補助（循環器 脳血管 呼吸器 代謝 肝疾患系）	実習	2
5	全身疾患をもつ患者と歯科診療補助（血液 自己免疫 不安愁訴 腎疾患系）	実習	2
6	発表 補足 ①	実習	2
7	発表 補足 ②	実習	2
8	発表 補足 ③	実習	2
9	歯科訪問診療における対応	講義	2
10	周術期における歯科診療補助	講義	2
11	歯科用レーザー	講義	2
12	インプラントとその材料	講義	2
13	総論	講義	2
14	保存治療時の歯科診療補助	講義	2
15	歯科材料①	講義	2

基礎介護

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	長谷川淳子(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院で看護師として勤務				
一般目標	高齢化社会と介護についての基礎的な知識を理解し、また歯科介護の実践に役立つ知識と技術を習得する。				
成績評価	授業態度、試験成績などから総合的に評価する。				
教 科 書	プリント配布				
参 考 書	「歯科衛生士のための歯科介護」 (医歯薬出版)				

	授業内容	授業形態	時間
1	介護とは 介護の現状 高齢化社会問題について	講義	2
2	介護の誕生と目的 介護保険制度について	講義	2
3	介護関連の定義・関連用語	講義	2
4	歯科介護および歯科介護予防	講義	2
5	老化とは 認知症の概念と定義	講義	2
6	高齢有病者の歯科的特徴と問題点	講義	2
7	歯科介護の実施内容	講義	2
8	介護の基本と実際	講義	2
9	歯科介護実践の場	講義	2
10	ライフステージと歯科衛生士のかかわり	講義	2
11	基礎介護実習①	実習	2
12	基礎介護実習②	実習	2
13	基礎介護実習③	実習	2
14	基礎介護実習④	実習	2
15	基礎介護実習⑤	実習	2

臨床実習・臨地実習Ⅱ

時 間 数	495 時間	単位数	11 (22) 単位	配当年次	3 年
担 当 者	臨床実習指導者				
実務経験	臨床実習先で歯科医師及び歯科衛生士として勤務				
一般目標	臨床実習を通じて、歯科衛生士としての業務を行うために必要な知識や技術、態度を習得する。				
成績評価	出席率 実習記録 実習指導者からの評価を総合し単位評価をする				
教 科 書					
参 考 書					

	実習内容	授業形態	時間
	①病院実習	実習	495
	・ 歯科診療補助・歯科予防処置・歯科保健指導・外科的処置、症例見学		
	②歯科診療所実習		
	・ 歯科診療補助・歯科予防処置・歯科保健指導		
	③施設実習（高齢者施設 心身障がい者（児）施設等）		
	④フィールド実習（保育所 幼稚園 小学校 支援学校等）		
	⑤保健所実習		

摂食嚥下

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	高田 訓(非常勤講師)、鈴木史彦(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	摂食嚥下障害のある患者に対して口腔ケアを提供するために障害の程度と機能および口腔機能の維持増進について習得する。				
成績評価	定期試験にて行う。				
教 科 書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	摂食嚥下とは	講義	2
2	摂食嚥下 αメカニズム 1	講義	2
3	摂食嚥下 αメカニズム 2	講義	2
4	摂食嚥下の障害	講義	2
5	摂食嚥下にかかわる検査	講義	2
6	摂食嚥下障害に対する間接訓練、直接訓練	講義	2
7	摂食嚥下における口腔ケア	講義	2
8	まとめ	講義	2

社会保険請求

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位	配当年次	3 年
担 当 者	鈴木史彦(非常勤講師)				
実務経験	奥羽大学歯学部で歯科医師として勤務				
一般目標	歯科分野における適切な社会保険請求をするために、社会保険に関する法律、介護保険との違い、および請求方法について習得する。				
成績評価	定期試験で 60 点以上を合格とする。なお、欠席は 1 回につき 10 点として試験結果から減点する。				
教 科 書	歯科衛生士と法律（医歯薬出版）プリント配布				
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	社会保険と医療保険	講義	2
2	介護保険	講義	2
3	診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）の違い	講義	2
4	基本診療料と医学管理料	講義	2
5	歯内療法	講義	2
6	歯周治療	講義	2
7	歯冠修復とブリッジ	講義	2
8	有床義歯	講義	2
9	口腔外科	講義	2
10	小児歯科・歯科矯正	講義	2

研修・卒業研究

時 間 数	34(45)時間	単位数	(1)単位	配当年次	3 年
担 当 者	石河香子(専任教員)、菅野明子(専任教員)、國分明子(専任教員)、長谷川央江(専任教員)				
実務経験	奥羽大学歯学部附属病院、市内歯科医院で歯科衛生士として実務経験あり				
一般目標	研修、卒業研究の取り組みを通し、自ら考え、調べ、まとめる能力を習得する。				
成績評価	研究レポート、発表、平常点により評価する。				
教 科 書					
参 考 書					

	授業内容	授業形態	時間
1	セミナー	講義	2
2	〃	講義	2
3	〃	講義	2
4	〃	講義	2
5	〃	講義	2
6	〃	講義	2
7	卒業研究について、 テーマの決定	講義	2
8	資料作成	講義	2
9	〃	講義	2
10	〃	講義	2
11	〃	講義	2
12	〃	講義	2
13	〃	講義	2
14	研究のまとめ	講義	2
15	〃	講義	2
16	発表	講義	2
17	〃	講義	2

技工実習

時 間 数	12(45)時間	単位数	(1)単位	配当年次	3 年
担 当 者	熊田恭夫(専任教員)				
実務経験	歯科技工所で歯科技工士として実務経験あり				
一般目標	本授業では、科学的思考と技術に裏付けられた歯科技工の手順を理解・修得するために実施される。				
成績評価	製作物の評価				
教 科 書	担当講師のプリント				
参 考 書	歯冠修復技工学 全部床義歯技工学 部分床義歯技工学 (医歯薬出版)				

	授業内容	授業形態	時間
1	有床義歯技工に関する説明及び個人トレー製作	実習	2
2	〃 〃	実習	2
3	歯冠修復技工に関する説明及びワックス形成（埋没）	実習	2
4	〃 〃	実習	2
5	鑄造及び研磨	実習	2
6	〃	実習	2